取扱説明書

スキャントロニクス®

HA200Rシリーズ

このたびは、当社スキャントロニクスHA200Rシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。
本書は、はじめてスキャントロニクスHA200Rシリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、スキャントロニクスHA200Rシリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 純正®のご使用をお願いします。

株式会社サトー

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示(左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

⚠ 警告

■ 不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■ 水などの入った容器を置かない

・プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

■ 内部に異物を入れない

・プリンタの開口部(ケーブルの出口やSDカートリッジ取付口など)から金属物や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因になります。

■ 指定以外の電圧は使用しない

・指定された電源電圧(AC100V)以外は、使用しないでください。火災･感電の原因になります。

初 版　2009年7月
第2版　2013年12月　Q02820001

⚠ 警告

■必ずアース線を接続して

・必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。

■電源コードの取り扱いについて

・電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
・電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは

・プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

・万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■分解しないでください

・プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。

■プリンタ清掃液の取り扱いについて

・プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
・お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

⚠ 注意

■湿度が高い場所に置かない

・プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び

・移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
・用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
・プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

⚠ 注意

■電源

・濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

■電源コード

・電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。

・電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。

・本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■カバー

・カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド

・印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。

・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
・サーマルヘッドの交換は、ケガ、火傷および感電のおそれがありますので注意して行ってください。

■サーマルヘッドの開閉

・サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット

・ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。

■長期間ご使用にならないとき

・プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき

・プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

（1）　本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

（2）　本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

（3）　本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。

（4）　この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

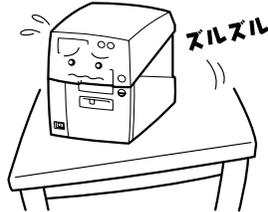
設置及び取り扱い上の注意

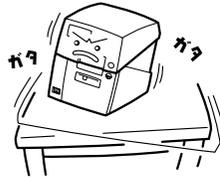
次のことに注意して、設置、取り扱いを行ってください。

▲設置場所について

次のことに注意して、本プリンタを設置してください。

水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

振動のある場所には置かないでください。

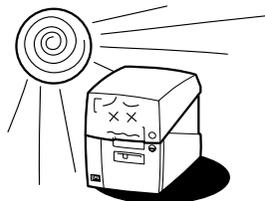
振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。

高温・多湿の場所には置かないでください。

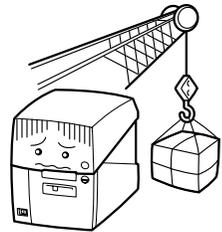
温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。

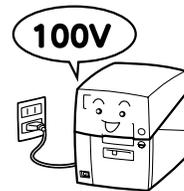
ほこりを避けて使用してください。

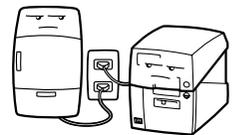
ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くするおそれがあります。

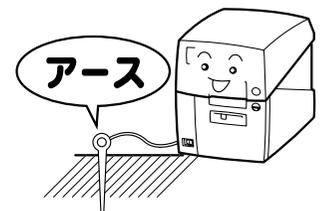
直射日光はきらいです。

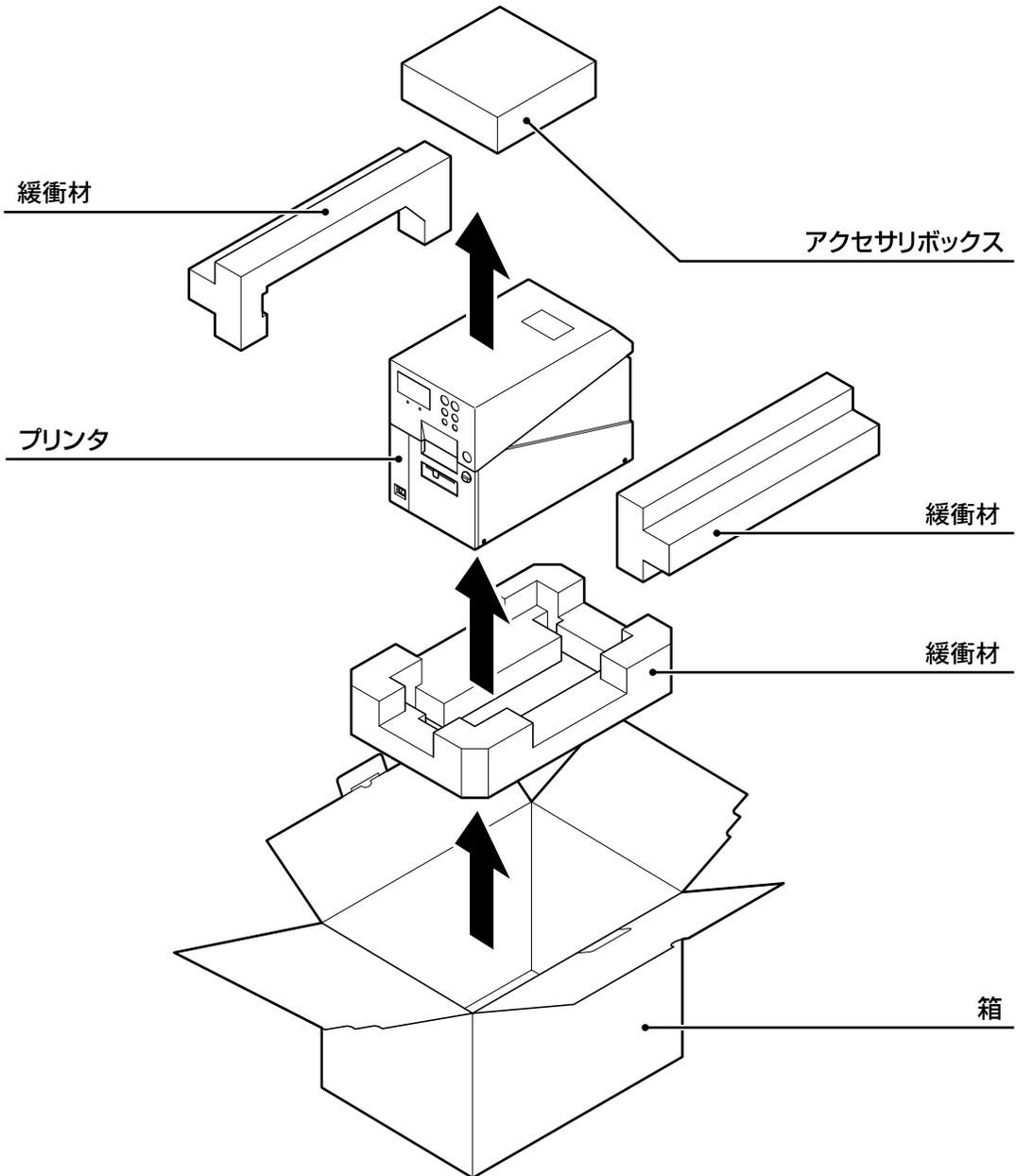
本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずトップカバーを閉じてください。ハクリユニットを使用した際は、屋外で使用されますとラベル誤発行を起こす可能性があります。

クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本プリンタの誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。

▲電源について

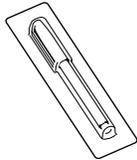
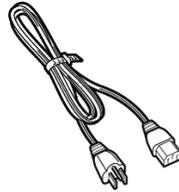
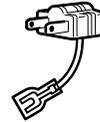
本プリンタは、AC100Vの交流電源が必要です。

電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

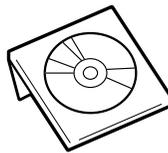
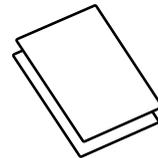
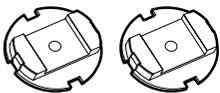
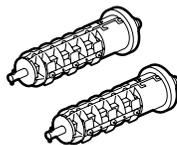
ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

必ずアース線を接続してください。

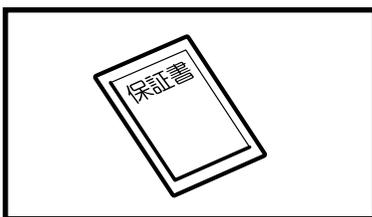
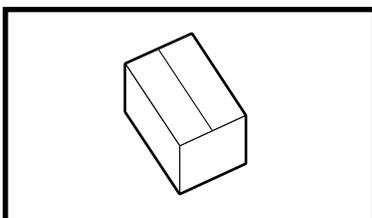
アース設備がない場合は、アース設備工事を行ってください。

箱から出しましょう

本プリンタを箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。

※ 緩衝材(プリンタ押えのクッション)の形状が
一部異なる場合があります。

添付品の確認

箱を開けたら、次の添付品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店･ディーラーまでお問い合わせください。

保証書　クリーニングペン　電源コード　3極-2極変換アダプタ

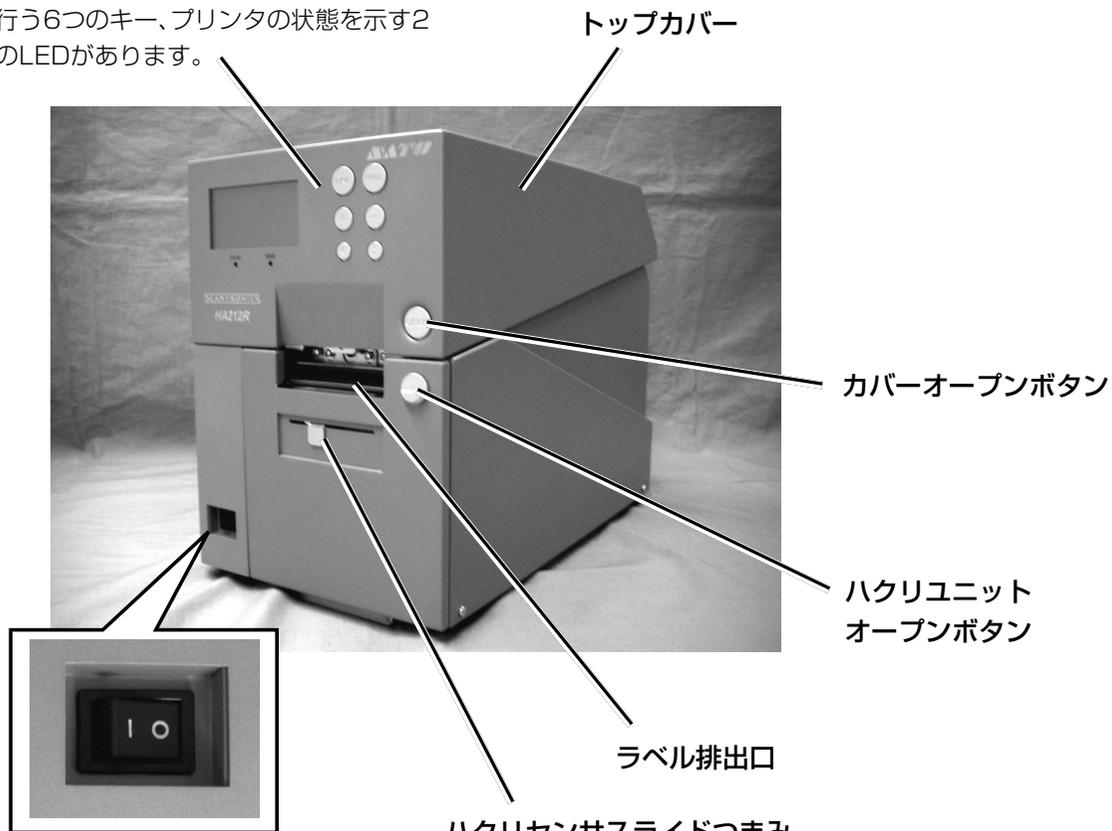
取扱説明書（本書）と
セットアップガイド　アクセサリCD-ROM　メンテナンス案内書

ロールホルダー（2個）　リボンアダプタ（2個）　リボン支管　内部巻取りコア
クリップ

▲保証書と箱は大切に

本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。

各部の名称

▲プリンタ本体（本体概観）

操作パネル部

メッセージを表示するディスプレイと操作を行う6つのキー、プリンタの状態を示す2つのLEDがあります。

電源スイッチ

本プリンタの電源を入れるとき、切るときに使用します。
I側に押すと電源が入ります。
○側に押すと電源が切れます。

ハクリセンサスライドつまみ

ハクリセンサスライドつまみを左右に移動して、ハクリセンサの位置を調整します。
通常はハクリセンサの位置を中央にセットしてください。
なお、多面取りのラベルの場合は、ハクリセンサの位置に注意してください。

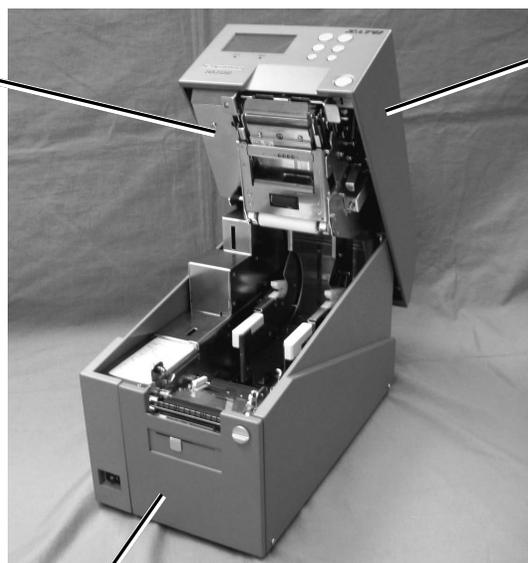
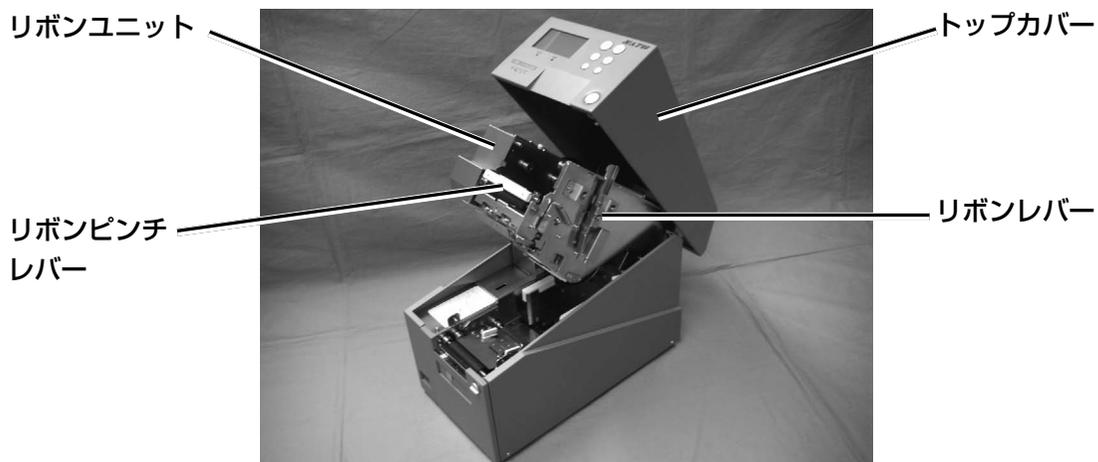
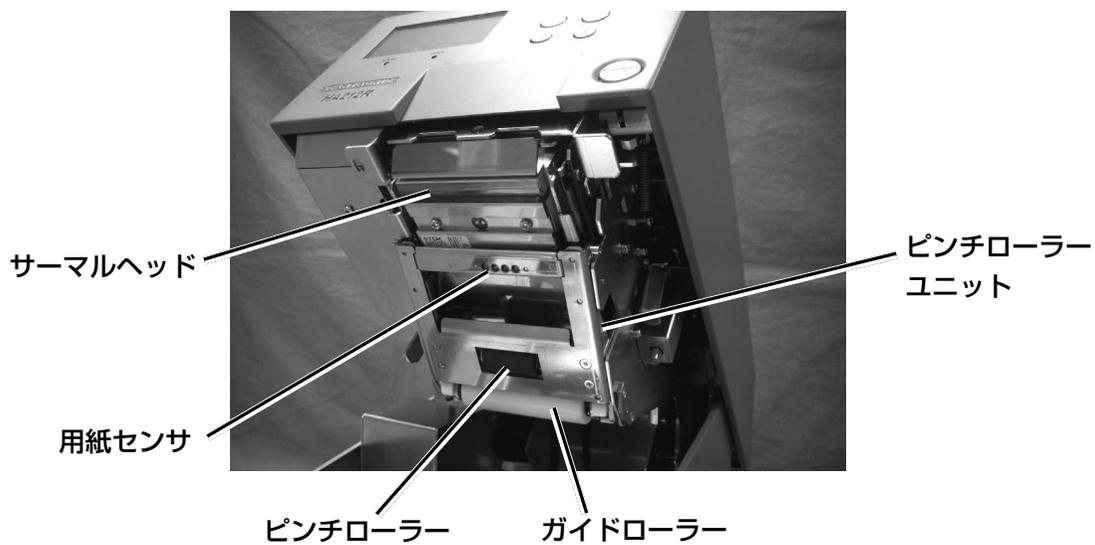
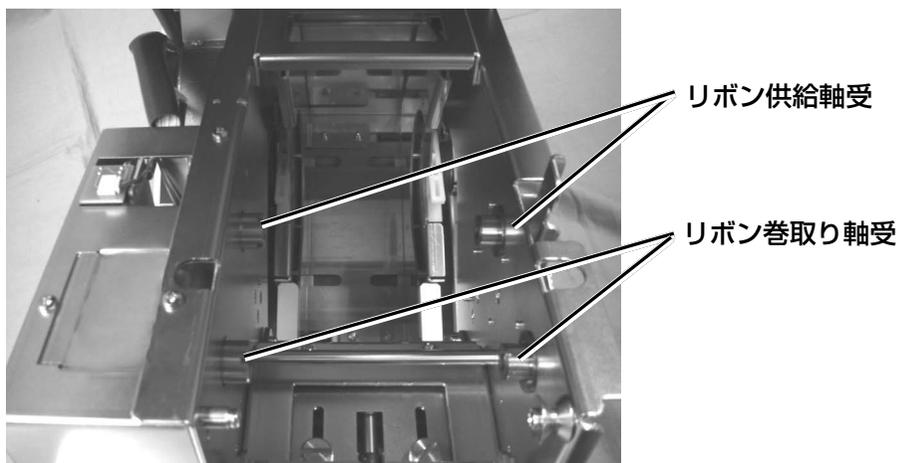
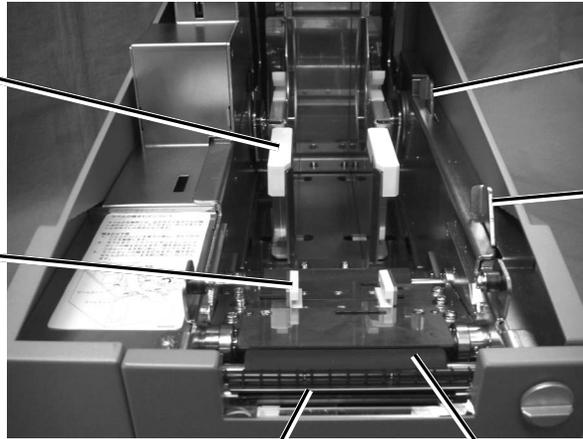
▲背面部

▲トップカバーオープン時

▲リボンユニットオープン時

【リボンユニット部】

リボン供給軸受
リボン巻取り軸受

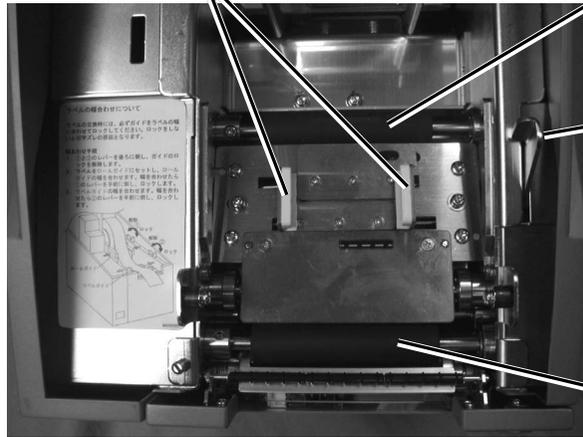
サーマルヘッド
ピンチローラー
ユニット
用紙センサ
ピンチローラー
ガイドローラー

【ラベル搬送部】

ロールガイド

ロールガイドロック
レバー

ラベルガイドロック
レバー

ラベルガイド

プラテンローラー

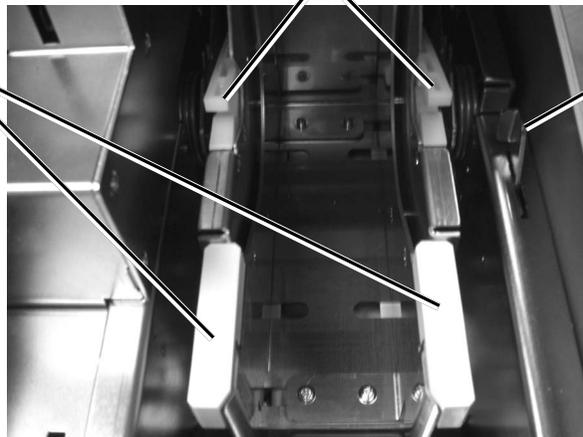
ハクリバー

ラベルガイド

フィードローラー

ラベルガイドロック
レバー

プラテンローラー

ロール軸受

ロールガイド

ロールガイドロック
レバー

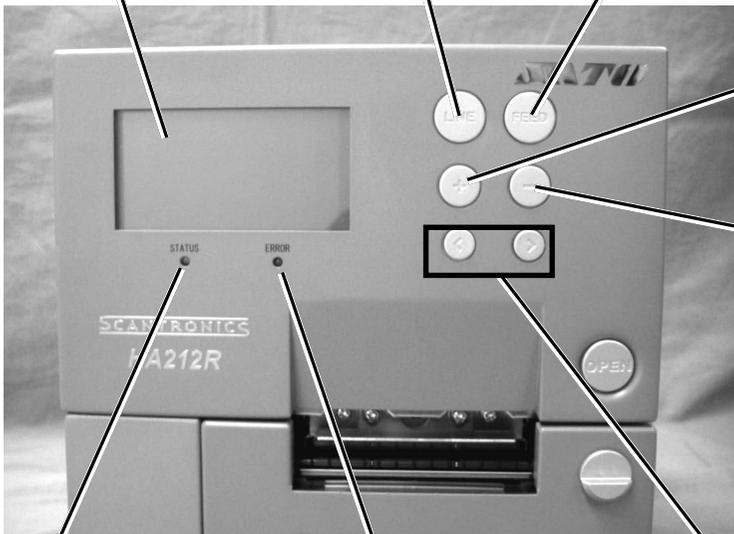
【操作部】

ディスプレイ
アイコン、操作メッセージやエラーメッセージを表示します。

LINE キー
印字のスタート･ストップおよびデータ送受信のオン･オフを切替えます。
各設定モードでは、前の設定項目に戻ります。

FEED キー
用紙の紙送りをします。オフライン時に1回押すと1枚分の用紙を送り出します。
※ 電源ON、用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。このような場合には、LINE キーを押してオフライン状態にし、FEED キーを必ず押して用紙を正規の位置に合わせてください。
各設定モードでは、設定内容を確定します。

＋ キー
各設定モードで、設定値を入力します。（加算）

－ キー
各設定モードで、設定値を入力します。（減算）

STATUS
オンライン状態で点灯し、オフライン状態で消灯します。
データ受信中は点滅します。

ERROR
エラーが発生したとき、点灯、点滅します。

◀・▶ キー
各設定モードでのカーソル移動をします。

電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

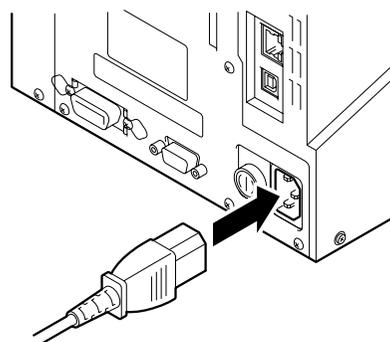
電源コードを接続する

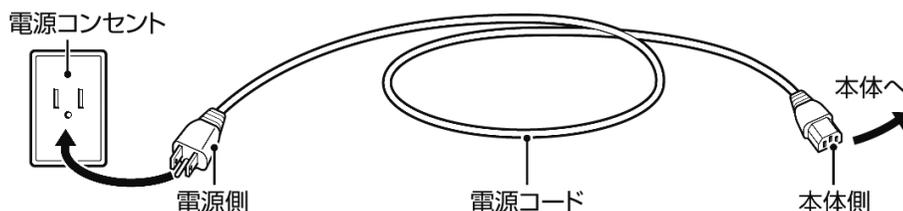
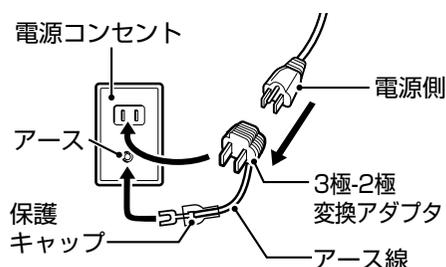
警告

- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

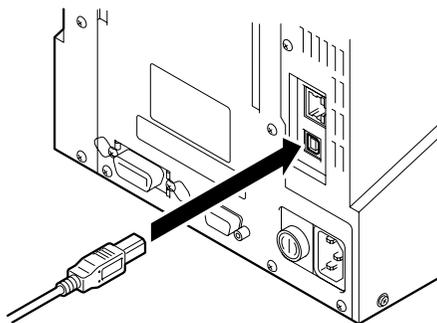
注意

本プリンタに付属の電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

プリンタのAC入力電源端子に電源コードを接続します。
差込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差込んでください。

電源コンセントに電源コードを差込みます。

添付の電源コードのプラグの形は、3極タイプになっています。3本の足のうち1本がアース線になっています。
ご使用の電源コンセントが3極タイプの場合はそのまま電源コードを差込んでください。

電源コンセントが2極タイプの場合は、付属の3極-2極変換アダプタを使い、右図のように必ずアース線を接続してください。
3極-2極変換アダプタの保護キャップを外し、アース線をアース端子に接続してから差し込みプラグを接続してください。

インタフェースケーブルを接続する

インタフェースの規格に適応したケーブルをご使用ください。

差込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差込んでください。

電源を入れてみましょう

警告

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プリンタ本体前面の電源スイッチを入れます。
「Ｉ」と書いてある側を押してください。

ON
OFF

電源スイッチを入れるとディスプレイに「オンライン」と表示されます。

あれ？おかしいな

今までに行った準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「オンライン」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。
メッセージが表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」(90ページ)を参照し、準備をしなおしてください。

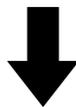
電源を切りましょう

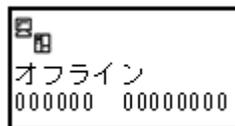
本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことを行ってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。
ディスプレイに次のように「オンライン」と表示されているときは、オンライン状態になっています。

LINEキーを押して、オフライン状態にします。
ディスプレイに「オフライン」と表示されます。

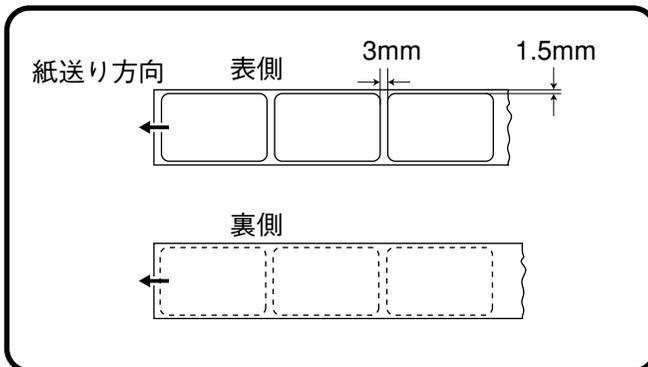
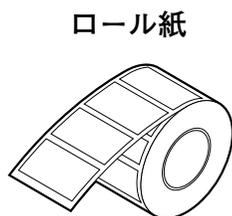
オフライン
000000 00000000

オフライン状態になっていることを確認して、本プリンタ正面の電源スイッチの「○」と書いてある側を押してください。

ON

OFF

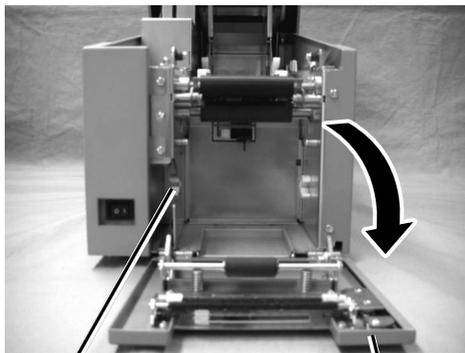
用紙のセット

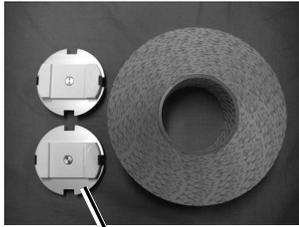
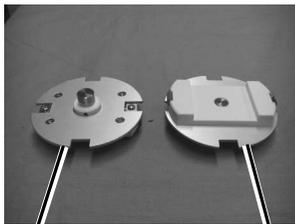
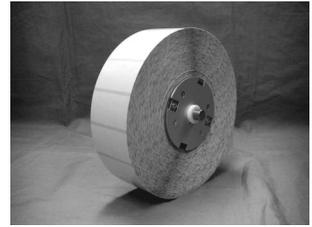
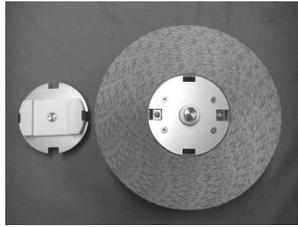
本プリンタはロール紙に印字することができます。
本プリンタは、ラベルとラベルの間をセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

サトー"純正"用紙のご使用をお願いします。

ロール紙のセット(ハクリ)

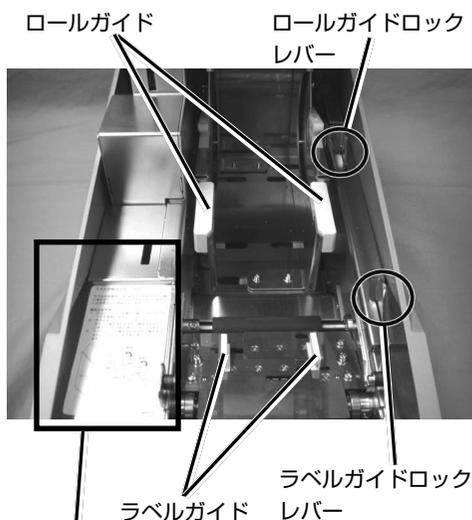
1

カバーオープンボタンを押してトップカバーを開けます。

ハクリユニットオープンボタンを押し下げて、ハクリユニットを開きます。

2

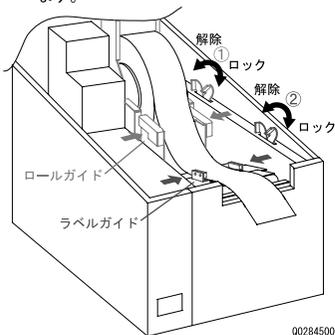
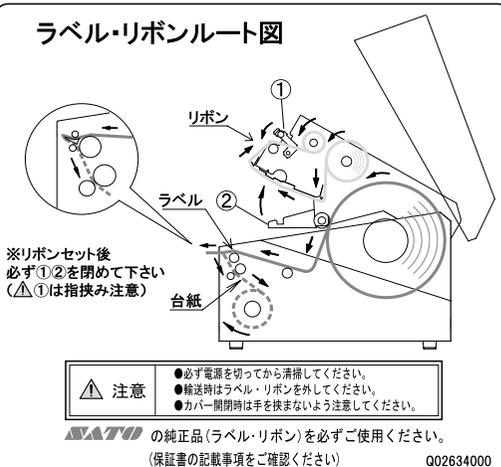
添付品のロールホルダーをロール紙の左右にセットします。

3

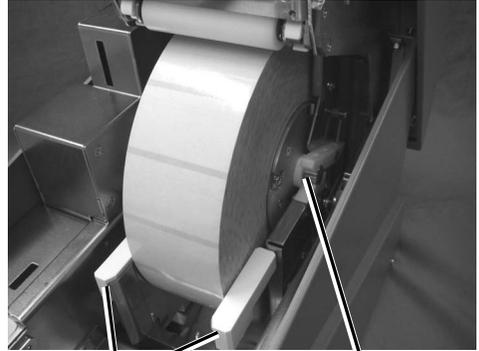
ラベルガイドロックレバーとロールガイドロックレバーのロックを解除します。

本プリンタに貼り付けてあります､｢ラベルの幅合わせについて｣シートを参照してください。

ラベルの幅合わせについて

ラベルの交換時には、必ずガイドをラベルの幅に合わせてロックしてください。ロックをしないと印字ズレの原因となります。

幅あわせ手順
1．①と②のレバーを後ろに倒し、ガイドのロックを解除します。
2．ラベルをロールガイドにセットし、ロールガイドの幅を合わせます。幅を合わせたら①のレバーを手前に倒し、ロックします。
3．ラベルガイドの幅を合わせます。幅を合わせたら②のレバーを手前に倒し、ロックします。

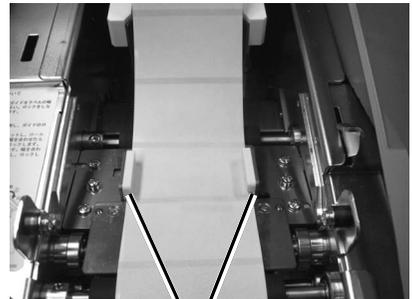
【参考】

トップカバーに貼られているルートステッカ(ラベル･リボンルート図)も参照してください。

4

ロールガイドを左右にスライドして用紙サイズに合わせてロール軸受にセットします。

ロールガイド　ロール軸受

5

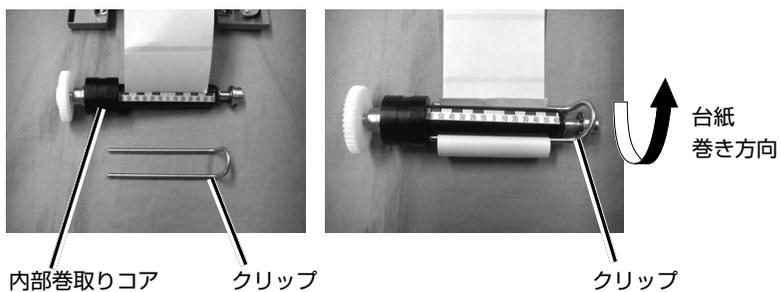
ラベルガイドを左右にスライドして用紙サイズに合わせます。

注）ラベルの両端がガイドに軽く接触する程度に合わせてください。

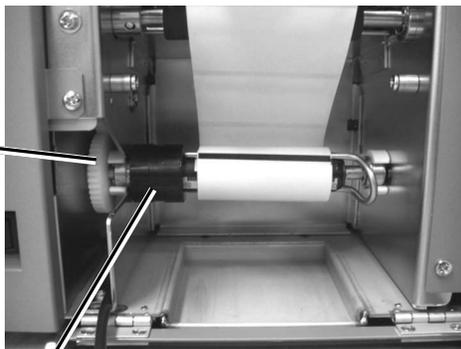
「ラベルの幅合わせについて」シート

ラベルガイド

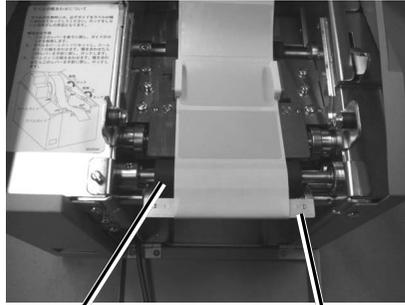
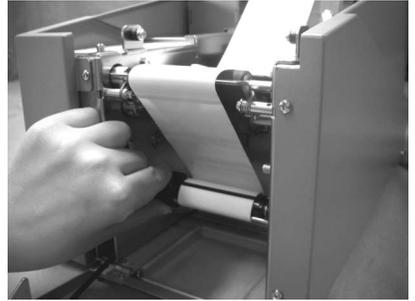
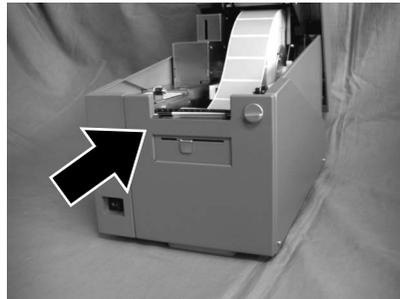
調整後は、ラベルガイドロックレバーとロールガイドロックレバーをロックします。操作方法については、「ラベルの幅合わせについて」シートを参照してください。

6

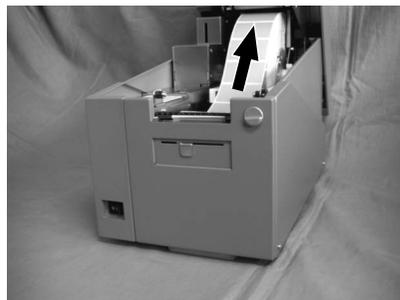
内部巻取りコアの目盛りを参考に用紙台紙サイズを合わせてクリップで止めます。

クリップにて止めた後は、150mm(3回転)以上巻取ります。
17ページのラベル･リボンルート図を参照してください。

7

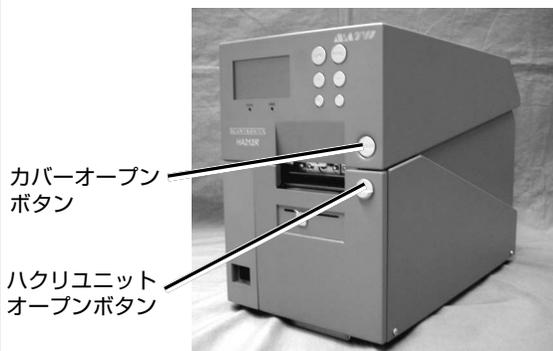
内部巻取りコアをカチャと音が鳴るまで奥に押してください。

8

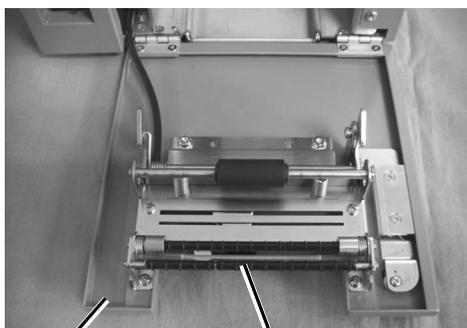
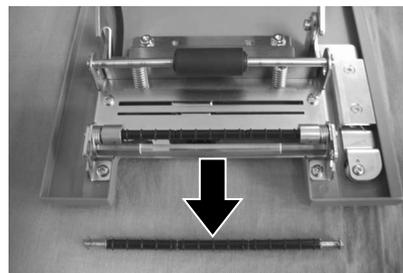
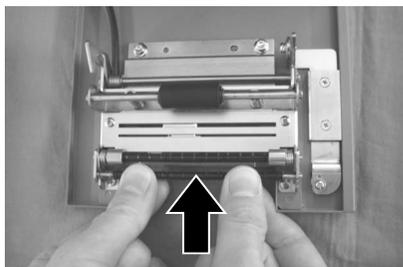
ラベル位置がプラテンローラーの位置まで搬送されるまで、内部巻取りコアを回します。

9

ハクリユニットを閉じます。

10

ラベルを矢印の方向に引っ張ったあと、トップカバーを閉じます。

ロール紙のセット（連続）

1

カバーオープンボタンを押してトップカバーを開けます。

【はじめて連続動作をする場合】

① ハクリユニットオープンボタンを押し下げてハクリユニットを開きます。

② ハクリユニットに装着しているハクリローラーを取り外します。
ハクリローラーを奥側に押しながら、下方向に引っ張って取り外します。

注）·取り外したハクリローラーは大切に保管してください。
·ハクリ印字動作で発行する際には、逆の手順で取り付けます。

③ ハクリユニットを閉じます。

2

用紙をセットします。

「ロール紙のセット(ハクリ)」の手順2～5を参照してください(16～18ページ)。

3

トップカバーを閉じます。

カーボンリボンのセット

サトー"純正"カーボンリボンのご使用をお願いします。

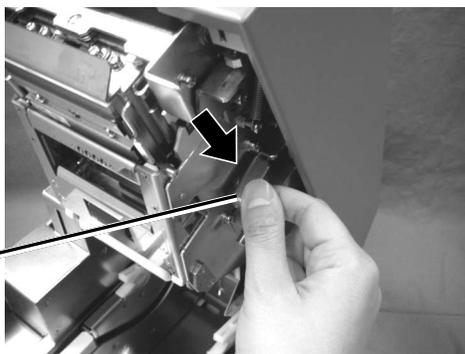
1

カバーオープンボタンを押して
トップカバーを開けます。

カバーオープンボタン

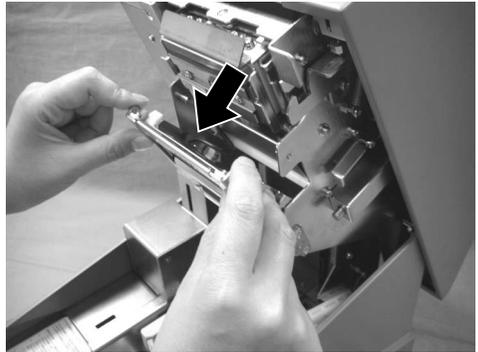
2

リボンレバーを押してリボン
ユニットを下に下ろします。
リボンレバーを押すとガチャ
と音がします。

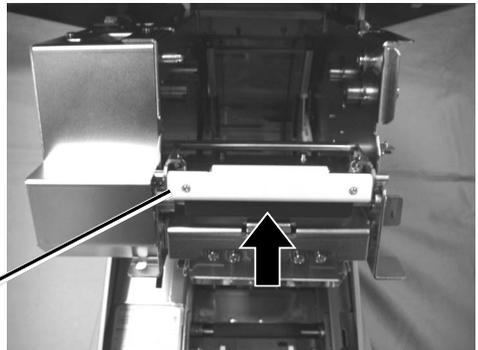
リボンレバー

注） カーボンリボンをセットするときは、トップカバーが全開になっていることを
確認してください。

3

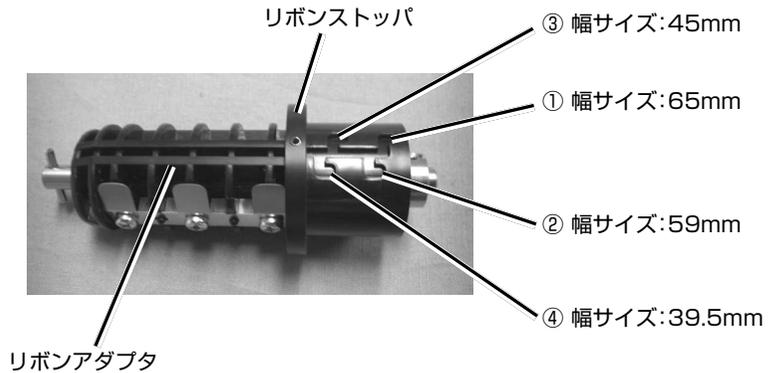
ピンチローラーユニットを下に下ろします。

ピンチローラーユニット

4

リボンユニットを下ろし、リボンピンチレバーを上に上げます。
カチャと音がするまで上げてください。

リボンピンチレバー

5

添付品のリボンアダプタにカーボンリボンと支管をセットします（26ページ参照）。

【リボンストッパのセット】
カーボンリボンの幅によって、リボンアダプタのリボンストッパの位置が異なります。

▲65mm幅のカーボンリボンの場合
リボンアダプタのリボンストッパ位置を①に設定します。

▲59mm幅のカーボンリボンの場合
リボンアダプタのリボンストッパ位置を②に設定します。

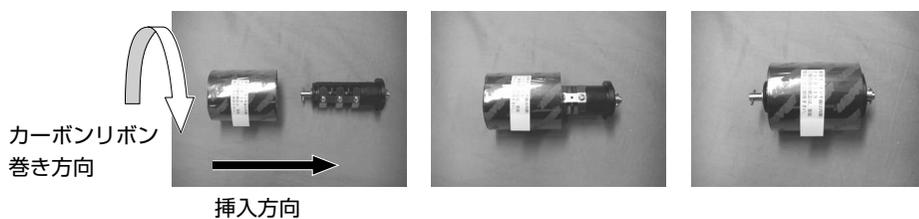
▲45mm幅のカーボンリボンの場合

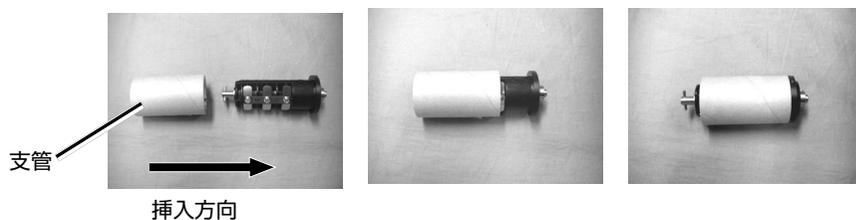
リボンアダプタのリボンストッパ位置を③に設定します。

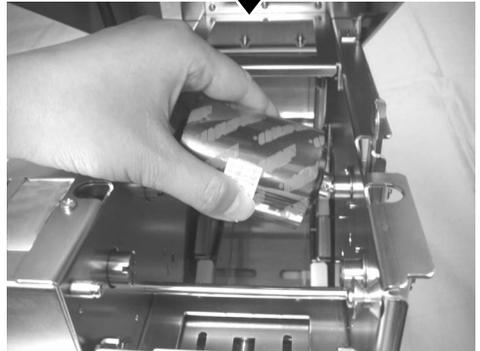
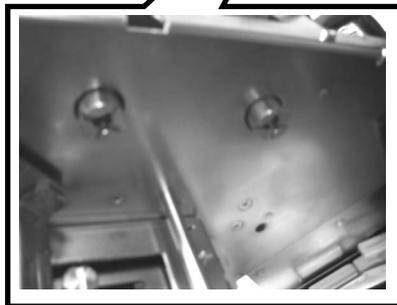
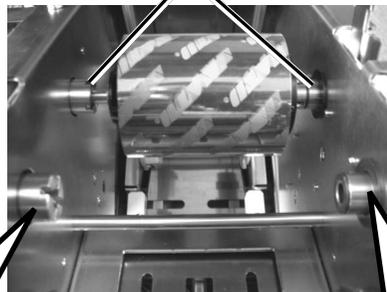
▲39.5mm幅のカーボンリボンの場合

リボンアダプタのリボンストッパ位置を④に設定します。

【カーボンリボンのセット】

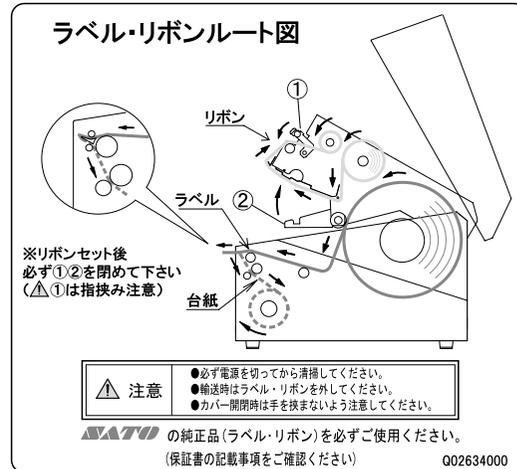
リボンアダプタにカーボンリボンの巻き方向に注意して、奥まで入れてください。

【支管のセット】

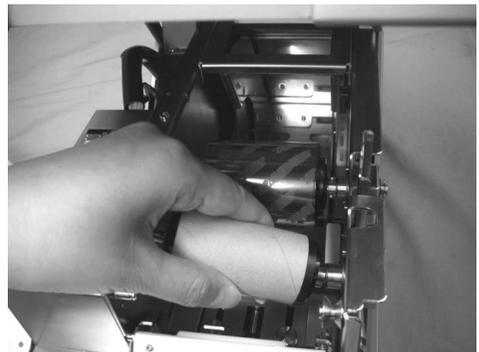
リボンアダプタに支管を奥まで入れてください。

6

カーボンリボンをリボン供給側の右側からセットして、リボン供給軸受にしっかりと入れます。

リボン供給軸受形状は十字になっていますので、必ず合わせてください。

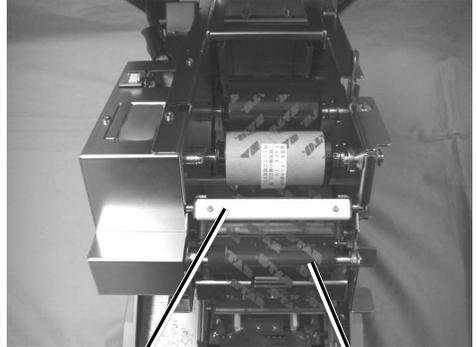
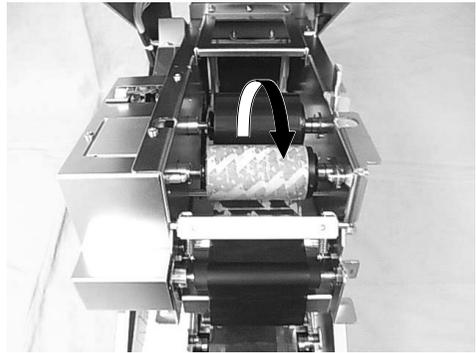
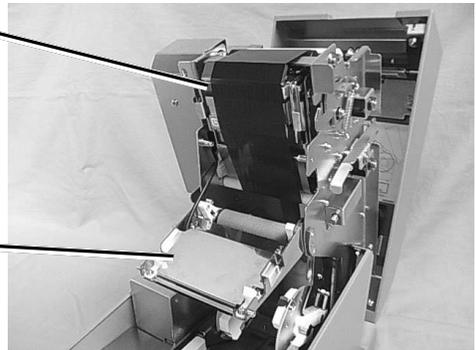
リボン供給軸受形状は丸になっています。

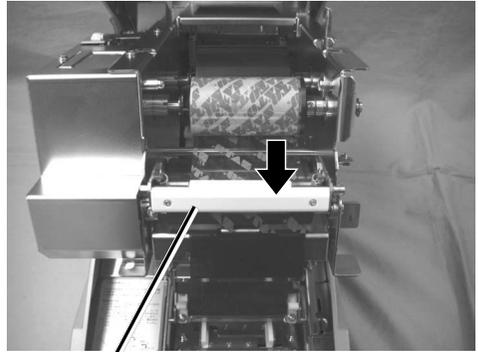
【参考】

トップカバーに貼られているルートステッカ(ラベル・リボンルート図)も参照してください。

7

支管をリボン巻取り側にセットします。操作方法は、カーボンリボンをリボン供給側にセットする方法と同じになります。

8

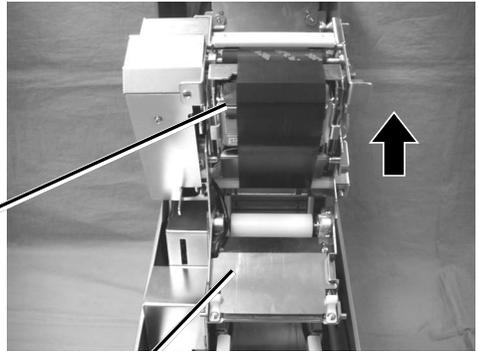
カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通します。次にリボンローラーとリボンピンチレバーの間に通して、リボン巻取り部へ通します。支管にカーボンリボンをテープで貼り付けます。

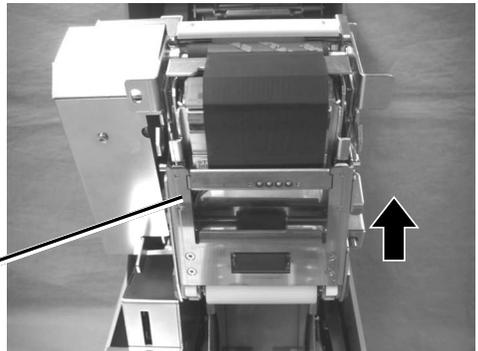
リボン巻取り側の支管を矢印の方向に手で回して、カーボンリボンのインク部分がリボンローラーの前にくるまで巻取ります。

9

リボンピンチレバーを下ろします。

リボンピンチレバー

10

リボンユニットを引き上げて、ピンチローラーユニットをセットします。

カチャと音が鳴るまでセットしてください。

リボンユニット

ピンチローラーユニット

ピンチローラーユニット

11

リボンユニットをトップカバーにセットします。
カチャと音が鳴るまで押してください。

12

トップカバーを閉じます。

⚠注意

- 印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをするおそれがあります。
- トップカバーやリボンユニットを閉めるときには、指を挟まないように注意して行ってください。

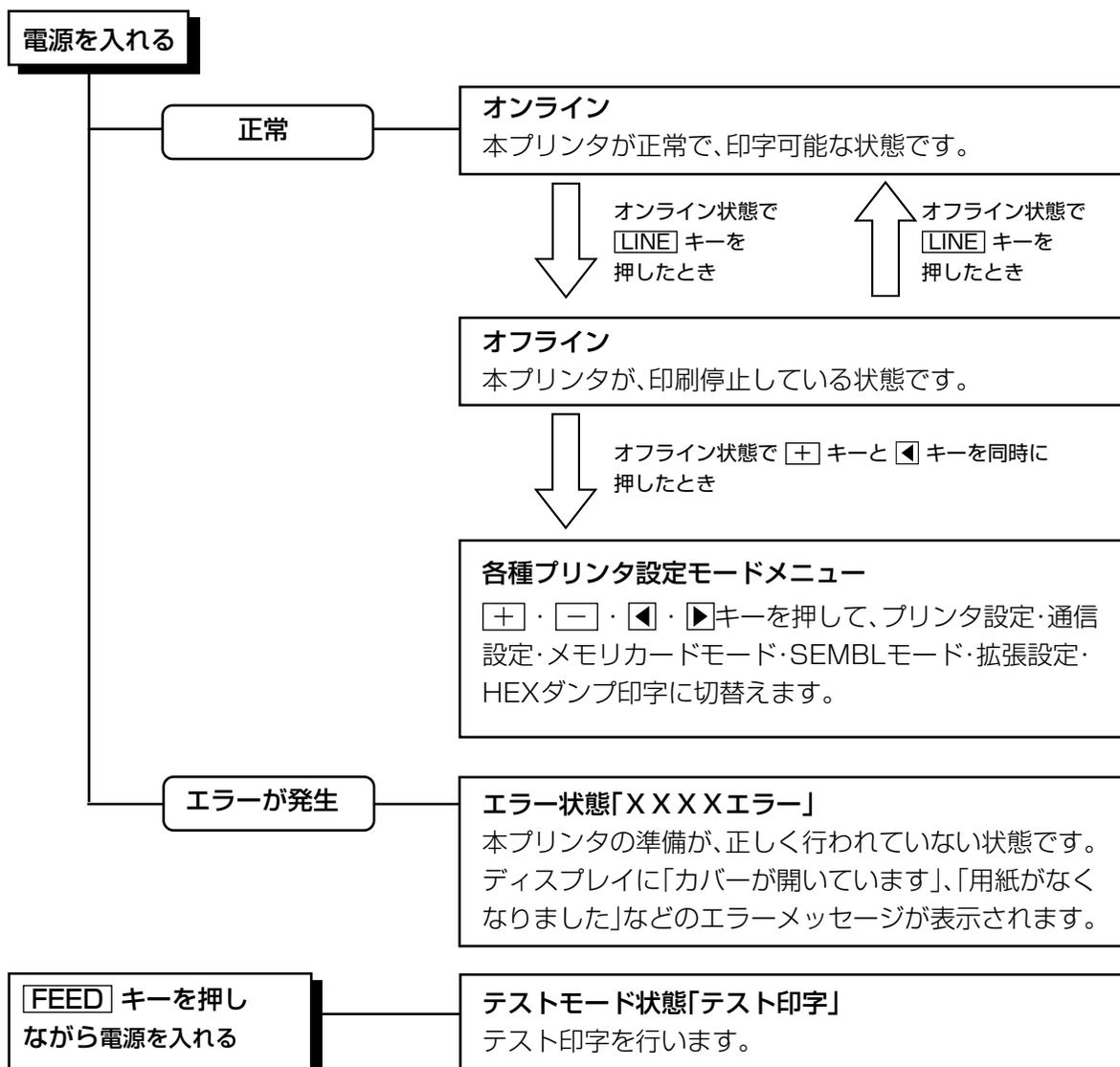
動かしてみましょう

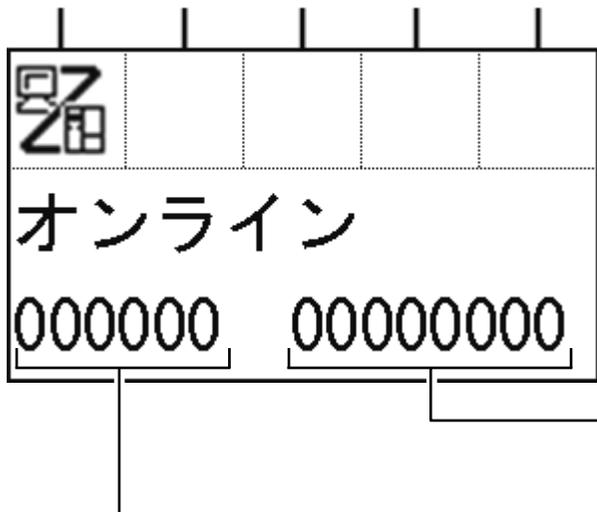
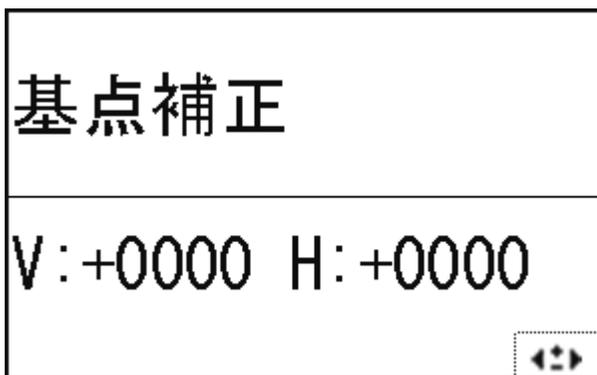
本プリンタを動かしてみましょう。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

動かしてみる前に

本プリンタを本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。
本プリンタは、操作パネル上にある操作キーで簡単に操作できます。
5つの状態から、いろいろな操作を行います。

▲操作の流れ

本プリンタはオンライン･オフライン･プリンタ設定モード･エラー･テストモードの5つの状態から操作を行います。
5つの状態と操作の流れをよく理解してください。

アイコン表示

▲表示画面

▲各種プリンタ設定モード

▲アイコン一覧

【モード表示】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		プリンタがオンライン状態のときに表示します。	アイコン1
2		プリンタがオフライン状態のときに表示します。	アイコン1
3		プリンタがテスト印字モードおよびダンプ印字モードのときに表示します。	アイコン1
4		プリンタがSEMBLモードのときに表示します。	アイコン1
5		プリンタがダウンロードモードのときに表示します。	アイコン1
6		プリンタにKey-Boが接続されている場合に表示します。	アイコン1
7		プリンタがアップロードモードのときに表示します。	アイコン1

【プリンタ設定モードメニュー】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		プリンタを通常モードに移行します。	–
2		プリンタをプリンタ設定に移行します。	–
3		プリンタを通信設定に移行します。	–
4		プリンタをSEMBLモードに移行します。	–
5		プリンタを拡張設定に移行します。	–
6		プリンタをHEXダンプ印字に移行します。	–
7		プリンタをメモリカードモードに移行します。	–

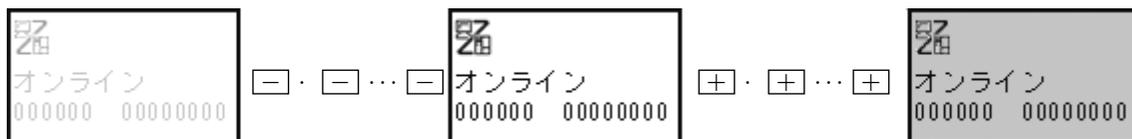
【エラー関連】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		用紙エンドを検出したときに表示します。	アイコン1
2		リボンエンドを検出したときに表示します。	アイコン1
3		センサエラーを検出したときに表示します。	アイコン1
4		カバーオープンを検出したときに表示します。 また、ヘッドリフトエラーを検出したときも表示します。	アイコン1
5		ヘッド断線を検出した時に表示します。	アイコン1
6		通信エラーを検出したときに表示します。	アイコン1
7		受信バッファオーバーを検出したときに表示します。	アイコン1
8		アイテムNOエラーまたはBCCエラーを検出したときに表示します。	アイコン1
9		メインROMへの書込みに失敗したときに表示します。 また、漢字フォントエラーを検出したときも表示します。	アイコン1
10		コマンドエラー表示を有効にした状態でコマンドエラーを検知したときに表示します。	アイコン1
11		ダウンロードデータが不正なときに表示します。	アイコン1
12		SDカードアクセスに失敗したときに表示します。また、SDカードに空き領域がないときも表示します。	アイコン1
13		上記以外のプリンタエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
14		各種エラーに対応したエラー番号を表示します。	アイコン2

【警告関連】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		コマンドエラーを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
2		受信バッファニアフルを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
3		ヘッドが断線しているときに表示します。	アイコン 3～5

▲ディスプレイ画面の濃度調整

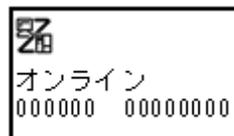
「通常モード」または「SEMBLモード」のとき、[＋]・[－] キーを押すことで表示濃度を調節できます。

・ 左右16段階(全32段階)で表示濃度の調節が可能です。
・ [＋]・[－] キー1回の押下で1段階変化します。
・ 初期値設定(デフォルト設定モード)の設定の初期化でセンターに戻ります。「初期値設定(デフォルト設定モード)」を参照してください。→73ページ

詳しい操作

本プリンタの詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

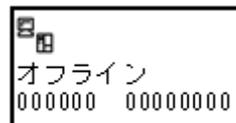
オンライン状態

本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。
本プリンタがオンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
- LINE キーを押して、オフライン状態に切替えたり、印字を中断することができます。

オフライン操作

オフライン状態

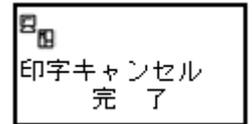
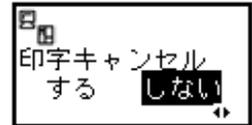
本プリンタが印字停止している状態です。
本プリンタがオフライン状態のとき、次の操作ができます。

オフライン
000000 00000000

- LINE キーを押して、オンライン状態に切替えます。
- FEED キーを押して、用紙を1枚送ります。
- ＋ と ◀ キーを同時に押して、各種プリンタ設定モードメニューに切替えます。
- ◀ と ▶ キーを同時に押して、調整モードに切替えます。
- LINE キーと FEED キーを同時に押して、印字データキャンセルに切替えます。

印字データキャンセル操作

本プリンタが印字動作中または、 LINE キーを押して印字を中断しているとき、既に受信済みの印字データをすべてクリアする操作ができます。

○印字動作中に LINE キーを押してオフライン状態に切替えます。
○ LINE キーと FEED キーを同時に押します。

- ●◀・▶ キーでカーソルを移動し、する 、しない を選択し、FEED キーを押します。
  - ・ する は、受信済みの印字データをクリアし、次の画面に変わります。
  - ・ しない は、オフライン状態に戻ります。

印字データがクリアされると、ディスプレイに次のように表示されます。
約3秒間表示後、オフライン状態に変わります。

調整モード操作

印字速度、優先設定、印字濃度、印字位置、停止位置の調整をすることができます。

- ●本プリンタがオフライン状態のとき、◀ と ▶ キーを同時に押すとディスプレイが次のように表示されます。
- ● LINE キーを押すと、設定値を登録しないで「オフライン」画面に戻ります。

印字速度 2.0 C
印字濃度 3A (50)
印字位置 +0.00
停止位置 +0.00 ±

1 印字速度調整

印字速度を調整します。

- ● ＋ ・ － キーで設定値を変更します。
  - ・設定値は1.0から4.0になります。
  - ・1.0(インチ/秒)が一番遅く、4.0(インチ/秒)が一番速くなります。
- ● FEED キーを押すと、設定値が登録され、次の項目にカーソルが移動します。
- ●印刷速度は、「プリンタ設定」の印字速度に連動します。
- ●初期値は、2.0(インチ/秒)になります。

印字速度 2.0 C
印字濃度 3A (50)
印字位置 +0.00
停止位置 +0.00 ±

2　コマンド優先設定調整

プリンタ内部の設定コマンドの優先設定を調整します。

- ［＋］・［－］キーで設定値を変更します。
  - ・［C］は、コマンド設定が優先します。
  - ・［I］は、プリンタ本体の設定値が優先します。
- ［FEED］キーを押すと、設定値が登録され、次の項目にカーソルが移動します。
- 初期値は、Cになります。

印字速度　2.0　C
印字濃度　3A (50)
印字位置　+0.00
停止位置　+0.00　±

3　印字濃度調整

印字の濃度（濃さ）を調整します。

- ［＋］・［－］キーで設定値を変更します。
  - ・設定範囲は、1A、2A、3A、4A、5A、1B、2B、3B、4B、5Bになります。1Aが一番薄く、5Bが一番濃くなります。
- ［FEED］キーを押すと、設定値が登録され、次の項目にカーソルが移動します。
- 印刷速度は、「プリンタ設定」の印字濃度と「拡張設定」の濃度レンジに連動します。
- 初期値は、3Aになります。

印字速度　2.0　C
印字濃度　3A (50)
印字位置　+0.00
停止位置　+0.00　±

4　印字濃度微調整

印字濃度調整にて設定した濃度を微調整します。

- ［＋］・［－］キーで設定値を変更します。
  - ・設定範囲は、00～99になります。
  - ・00が薄く、99が濃くなります。
- ［FEED］キーを押すと設定値が登録され、次の項目にカーソルが移動します。
- 初期値は、50になります。

印字速度　2.0　C
印字濃度　3A (50)
印字位置　+0.00
停止位置　+0.00　±

5　印字位置調整

ラベルの停止位置を調整します。

- 設定範囲は、−3.75～+3.75mmの範囲で設定できます。
- ［＋］キーを押すたびに数字が0.25上がります。
- ［－］キーを押すたびに数字が0.25下がります。
- ［FEED］キーを押すと設定値が登録され、次の項目にカーソルが移動します。
- 初期値は、+0.00になります。

印字速度　2.0　C
印字濃度　3A (50)
印字位置　+0.00
停止位置　+0.00　±

6　停止位置調整

ハクリ停止位置とティアオフ停止位置を調整します。

- 設定範囲は、－3.75～＋3.75mmの範囲で設定できます。
- ［＋］キーを押すたびに数字が0.25上がります。
- ［－］キーを押すたびに数字が0.25下がります。
- ［FEED］キーを押すと設定値が登録され、カーソルが印字速度調整へ移動します。
- 初期値は、+0.00になります。

これで調整モード操作による、プリンタ設定が終了しました。
調整モードを終了するには［LINE］キーを押してください。

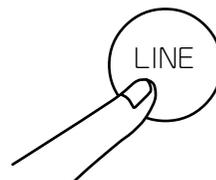
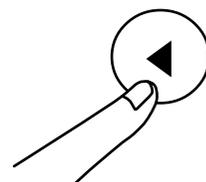
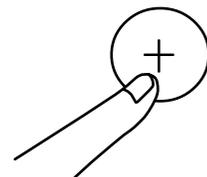
エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。 → 90ページ

各種プリンタ設定モードメニュー操作

プリンタ設定、通信設定、SEMBLモード、拡張設定、メモリカードモード、HEXダンプ印字の設定ができます。

▲プリンタ設定モードメニューの呼び出し

本プリンタの印字条件を設定するには、プリンタ設定モードメニューを呼び出します。次に、各印字条件の設定画面を呼び出します。
まず、LINE キーを押してオフライン状態にします。

次に、＋ キーと◀ キーを同時に押します。

ディスプレイに、次のように表示されます。

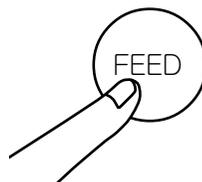
LINE キーを押すとオフラインに戻ります。

プリンタ設定操作

プリンタ設定モードメニュー画面で、＋・－・◀・▶キーを押して「プリンタ設定」を選択します。

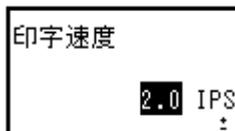
設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終わった後、FEED キーを1回押してください。
設定が登録され、次の設定が表示されます。

FEED キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。
LINE キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
LINE キーを長押しすると、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

FEED

FEED キーを押すとディスプレイに次のように表示されます。

1 印字速度設定

印字の速度(速さ)を、0.5インチきざみで7段階に設定できます。
用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。

●＋・－キーで設定値を変更します。
・1.0から4.0までの数字は、印字の速度を表します。
・1.0IPS(インチ/秒)が一番遅く、4.0IPS(インチ/秒)が一番速くなります。
●IPSはインチ/秒のことです。
●FEED キーを押すと、設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、2.0IPS(インチ/秒)になります。

2 印字濃度設定

印字の濃度(濃さ)を、5段階で設定できます。

- 1～5までの数字は、印字の濃度(濃さ)を表します。
  1が一番薄く、5が一番濃くなります。
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、1～5を選択します。
- FEED キーを押すと、設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、3になります。

3 印字位置補正設定

印字位置補正

基点補正
V:+0000 H:+0000

印字位置補正で用紙に印字する位置を補正することができます。
本プリンタには、最初から印字の基準となる位置(印字基準位置)が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置(基点)に印字するか設定します。
本プリンタでは印字基準位置から印字したい位置までの距離をdot単位で設定します。1dotの長さは機種によって違います。HA212Rは1dot＝0.083mm、HA224Rは1dot＝0.042mmです。

V:印字基準位置から、縦方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
"＋"と"－"は移動する方向です。
"＋":印字方向に対し後
"－":印字方向に対し前

H:印字基準位置から、横方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
"＋"と"－"は移動する方向です。
"＋":プリンタ正面に向かって左側
"－":プリンタ正面に向かって右側

初期値は、縦印字位置補正は0dot、横印字位置補正は0dotになります。

注意

- ヘッドの密度により設定可能な範囲が異なりますのでご注意ください。
- HA212R:V±0000～2400dot　H±0000～0672dot
- HA224R:V±0000～4800dot　H±0000～1344dot

① V(縦方向)の移動方向の設定

「印字位置補正設定」画面がディスプレイに表示されると、カーソルが、V(縦方向)の"＋"にあり、白黒反転しています。

基点補正

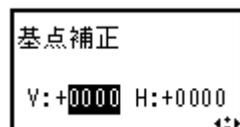
V:+0000 H:+0000

● ＋ ・ － キーを1回押すたびに"＋"と"－"に表示が切替わります。
● ▶ キーを押すと、カーソルがV(縦方向)の数字に移行します。
● ◀ キーを押すと、カーソルがH(横方向)の数字に移行します。

② V(縦方向)の移動dot数の設定

V(縦方向)の数字が白黒反転しています。

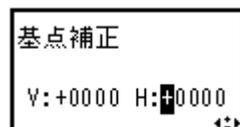
基点補正

V:+0000 H:+0000

● ＋ ・ － キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
● ▶ キーを押すと、カーソルがH(横方向)の"＋"に移行します。
● ◀ キーを押すと、カーソルがV(縦方向)の"＋"に移行します。

③ H(横方向)の移動方向の設定

H(横方向)の"＋"が白黒反転しています。

基点補正

V:+0000 H:+0000

● ＋ ・ － キーを1回押すたびに"＋"と"－"に表示が切替わります。
● ▶ キーを押すと、カーソルがH(横方向)の数字に移行します。
● ◀ キーを押すと、カーソルがV(縦方向)の数字に移行します。

④ H(横方向)の移動dot数の設定

H(横方向)の数字が白黒反転しています。

基点補正

V:+0000 H:+0000

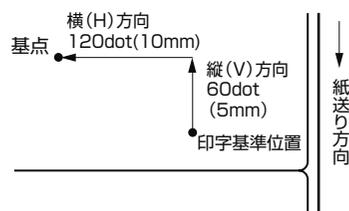
● ＋ ・ － キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
● ▶ キーを押すと、カーソルがV(縦方向)の"＋"に移行します。
● ◀ キーを押すと、カーソルがH(横方向)の"＋"に移行します。
● FEED キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。

【印字位置補正の設定例】

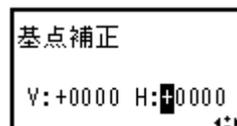
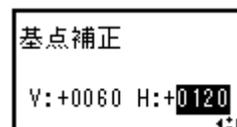
HA212Rで印字基準位置から

縦(V)方向に＋60dot(5mm)

横(H)方向に＋120dot(10mm)

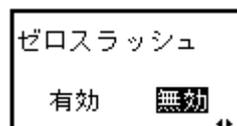
離れた位置を基点とする設定例を示します。

ディスプレイに、「印字位置補正設定」画面が表示されていることを確認してください。

基点補正
V:+0000 H:+0000

◀・▶・＋ キーで数字を設定し、FEED キーで登録を行い、次の画面表示にしてください。

FEED キーを1回押します。
ディスプレイの画面は、「ゼロスラッシュ切替設定」画面に変わります。

4　ゼロスラッシュ切替設定

ゼロ表示(漢字は除く)を"Ø"または、"0"に設定できます。

ゼロスラッシュ
有効　無効

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を設定します。
  - ・有効 は、"Ø"になります。
  - ・無効 は、"0"になります。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

5　文字コード切替設定

取り扱う漢字コードを、JIS、シフトJIS、Unicodeに設定できます。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、JIS 、シフトJIS 、Unicode を選択します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、JISになります。

6 プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理(各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか)を設定することができます。

対象フォントは、X21～X24となります。

ﾌﾟﾛﾎﾟｰｼｮﾅﾙﾋﾟｯﾁ

有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
●FEED キーを押すと設定が登録され、ディスプレイの画面は、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、無効になります。

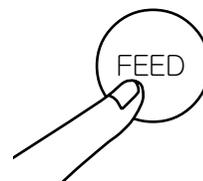
これでプリンタ設定操作による、プリンタ設定が終了しました。
プリンタ設定モードメニュー画面を終了するには、LINE キーを長押ししてください。

通信設定操作

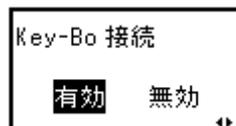
プリンタ設定モードメニュー画面で、＋・－・◀・▶ キーを押して「通信設定」を選択します。

設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終わった後、FEED キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定が表示されます。

FEED キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。
LINE キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
LINE キーを長押しすると、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

FEED キーを押すとディスプレイに次のように表示されます。

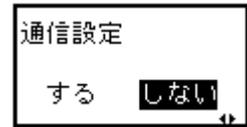
1 Key-Bo(簡易入力装置)設定

Key-Boポートの有効／無効を設定します。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
  - ・有効 は、Key-Bo(簡易入力装置)との接続を自動認識します。
  - ・無効 は、Key-Bo(簡易入力装置)との接続を認識しません。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効になります。

2 通信設定の変更確認

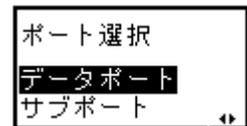
各種インタフェースの通信設定の変更を選択できます。

通信設定
する　しない

- ◀·▶ キーでカーソル移動し、する · しない を選択します。
  - · する は、「ポート選択」画面に変わります。
  - · しない は、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないになります。

3 ポート選択

通信設定を変更するインタフェースのポートを選択できます。

ポート選択
データポート
サブポート

- ◀·▶ キーでカーソルを移動し、データポート 、サブポート を選択します。
  - · データポート は、送受信可能なポートです。
  - · サブポート は、ステータス送信するポートです。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わり、選択したポートの設定を行います。
- 初期値は、データポートになります。

4 インタフェース選択

各種インタフェースの通信設定変更確認画面です。

- ◀·▶ キーでカーソルを移動し、データポートを選択します。
- 下記のデータポートの中から選択可能です。
  - · LAN
  - · RS-232C
  - · USB
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- LAN は、「LAN設定」画面に変わります。(50ページ)
- RS-232C は、「RS-232C設定」画面に変わります。(54ページ)
- USB は、「USB設定」画面に変わります。(57ページ)
- 各種インタフェースの設定が終了した場合、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- 初期値は、LANになります。

5　サブポート選択

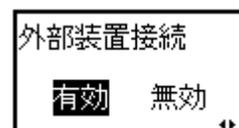
サブポートとして使用するインタフェースを設定します。

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、サブポートを選択します。
●下記のデータポートの中から選択可能です。
　・選択なし
　・RS-232C
　・USB
　・LAN
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●選択なし は、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●RS-232C は、「RS-232C設定」画面に変わります。(54ページ)
●USB は、「USB設定」画面に変わります。(57ページ)
●LAN は、「LAN設定」画面に変わります。(50ページ)
●データポートで設定したインタフェースはサブポートで選択できません。
●初期値は、選択なしになります。

6　外部装置接続の設定

サブポートと外部装置との接続有無を設定します。

外部装置接続
有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効・無効 を選択します。
　・有効 は、外部装置と接続します。
　・無効 は、外部装置と接続しません。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、有効になります。

各インタフェースの設定画面について

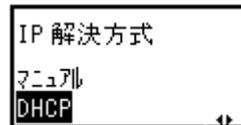
【LANインタフェースの場合】

▲変更した設定は次回の電源投入で有効になります。

1 IP解決方式設定

IP解決方式を設定します。

IP 解決方式
マニュアル
DHCP

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、マニュアル 、DHCP を選択します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
  - ・マニュアル は、RARP設定に変わります。
  - ・DHCP は、LANポート番号1設定に変わります。
- 初期値は、DHCPになります。

2 RARP設定

RARPを設定します。
本画面はIP解決方式で マニュアル を設定したときのみ表示されます。

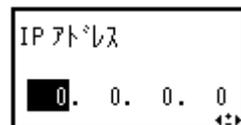
RARP 設定
有効 無効

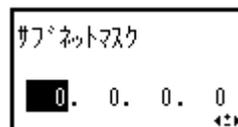
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
  - ・有効 は、サブネットマスク設定に変わります。
  - ・無効 は、IPアドレス設定に変わります。
- 初期値は、無効になります。

3 IPアドレス設定

IPアドレスを設定します。
本画面はIP解決方式で マニュアル を設定したときのみ表示されます。

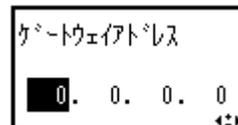
IP アドレス
0. 0. 0. 0

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、＋ ・ － キーで設定値を変更し、FEED キーで決定します。
  - ・設定できる範囲は、"000.000.000.000"～"255.255.255.255"です。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

4 サブネットマスク設定

サブネットマスクを設定します。
本画面はIP解決方式で マニュアル を設定したときのみ表示されます。

サブﾈｯﾄﾏｽｸ
0. 0. 0. 0

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、＋・－ キーで設定値を変更し、FEED キーで決定します。
  - ・設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

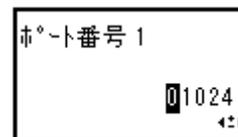
5 ゲートウェイアドレス設定

ゲートウェイアドレスを設定します。
本画面はIP解決方式で マニュアル を設定したときのみ表示されます。

ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
0. 0. 0. 0

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、＋・－ キーで設定値を変更します。
  - ・設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

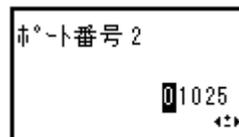
6 LANポート番号1設定

LANポート番号1を設定します。

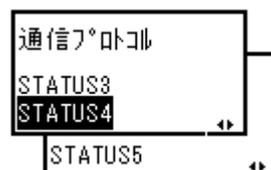
ﾎﾟｰﾄ番号 1
01024

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、＋・－ キーで設定値を変更します。
  - ・設定できる範囲は、00000から65535までです。
  - ・ポート番号2と同一のポート番号の設定はできません。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、01024になります。

7 LANポート番号2設定

LANポート番号2を設定します。

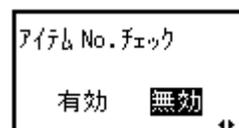
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、＋・－ キーで設定値を変更します。
  - ・設定できる範囲は、00000から65535までです。
  - ・ポート番号1と同一のポート番号の設定はできません。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、01025になります。

8 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選択します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
  - ・STATUS3
  - ・STATUS4
  - ・STATUS5
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- STATUS4 を選択した場合、プリンタステータス返送タイミング変更画面が表示されます（53ページ）。
- STATUS3 を選択した場合、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- STATUS5 を選択したときのみ、アイテムNo チェック設定とBCCチェック設定画面が表示されます。
- 初期値は、STATUS4になります。

9 アイテムNo.チェック設定

アイテムNo.チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

ｱｲﾃﾑ No.ﾁｪｯｸ
有効 無効

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
  - ・有効 は、アイテムNo.チェック機能を有効にします。
  - ・無効 は、アイテムNo.チェック機能を無効にします。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

10 BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

BCC ﾁｪｯｸ
有効 無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
・有効 は、BCCチェック機能を有効にします。
・無効 は、BCCチェック機能を無効にします。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、無効になります。

11 プリンタステータス返送タイミング設定

ステータス情報をコンピュータに返送するタイミングの設定を行います。
この画面は、通信プロトコルで STATUS4 を設定したときのみ表示されます。

ﾌﾟﾘﾝﾀｽﾃｰﾀｽ
返送ﾀｲﾐﾝｸﾞ
ENQ 周期

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、ENQ 、周期 を選択します。
・ENQ は、コンピュータからのステータス要求(ENQ)受信によりステータスを返送します。
・周期 は、500ms間隔でプリンタよりコンピュータにステータスを返送します。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、ENQになります。

【RS-232Cインタフェースの場合】

▲変更した設定は次回の電源投入で有効になります。

1　通信レート設定

RS-232Cの通信レートを設定します。

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、通信レートを選択します。
●下記のボーレートの中から選択可能です
　・9600bps
　・19200bps
　・38400bps
　・57600bps
　・115200bps
　・2400bps
　・4800bps
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、19200bpsになります。

2　パリティビット設定

RS-232Cのパリティビットを設定します。

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、パリティビットを選択します。
●下記のパリティビットの中から選択可能です
　・NONE
　・ODD
　・EVEN
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、NONEになります。

3　ストップビット設定

RS-232Cのストップビットを設定します。

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、1BIT 、2BIT を選択します。
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、1BITになります。

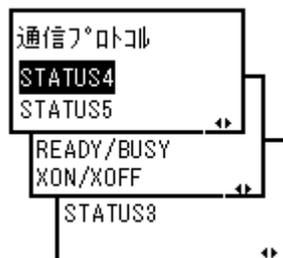
4 データ長設定

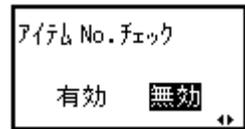
RS-232Cのデータ長を設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、7BIT 、8BIT を選択します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、8BITになります。

5 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選択します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
  - ・STATUS4
  - ・STATUS5
  - ・READY/BUSY
  - ・XON/XOFF
  - ・STATUS3
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- STATUS3 または STATUS4 を選択したときは、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- STATUS5 を選択したときのみ、アイテムNo チェック設定とBCCチェック設定画面が表示されます。
- READY/BUSY または XON/XOFF を選択したときは、受信バッファ設定画面に戻ります。
- 初期値は、STATUS4になります。

6　アイテムNo.チェック設定

アイテムNo.チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

アｲﾃﾑ No.ﾁｪｯｸ
有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
・有効 は、アイテムNo.チェック機能を有効にします。
・無効 は、アイテムNo.チェック機能を無効にします。
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、無効になります。

7　BCCチェック設定

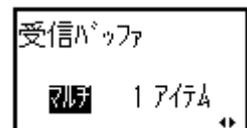
BCCチェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

BCC ﾁｪｯｸ
有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
・有効 は、BCCチェック機能を有効にします。
・無効 は、BCCチェック機能を無効にします。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、無効になります。

8　受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。
本画面は通信プロトコルで READY/BUSY または XON/XOFF を設定したときのみ表示されます。

受信ﾊﾞｯﾌｧ
ﾏﾙﾁ　1 ｱｲﾃﾑ

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、マルチ 、1アイテム を選択します。
・マルチ は、マルチ受信です。
・1アイテム は、1アイテム受信です。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
●初期値は、マルチになります。

【USBインタフェースの場合】

▲変更した設定は次回の電源投入で有効になります。

1　通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

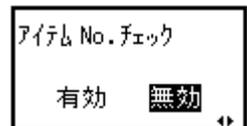
●◀・▶ キーでカーソルを移動し、STATUS4、STATUS5 を選択します。
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●STATUS5 を選択したときのみ、アイテムNo チェック設定とBCCチェック設定画面が表示されます。
●STATUS4 を選択した場合、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。
●初期値は、STATUS4になります。

通信ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
STATUS4
STATUS5

2　アイテムNo.チェック設定

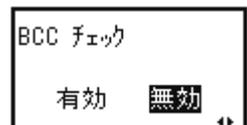
アイテムNo.チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

ｱｲﾃﾑ No.ﾁｪｯｸ
有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効、無効 を選択します。
　・有効 は、アイテムNo.チェック機能を有効にします。
　・無効 は、アイテムNo.チェック機能を無効にします。
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、無効になります。

3　BCCチェック設定

BCCチェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

BCC ﾁｪｯｸ
有効　無効

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効、無効 を選択します。
　・有効 は、BCCチェック機能を有効にします。
　・無効 は、BCCチェック機能を無効にします。
●FEED キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。
●初期値は、無効になります。

メモリカードモード操作

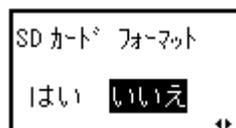
プリンタ設定モードメニュー画面で、＋・－・◀・▶ キーを押して「メモリカードモード」を選択します。
FEED キーを押すと操作パネルが次のように表示されます。

メモリカードモード

1　メモリカードフォーマット画面

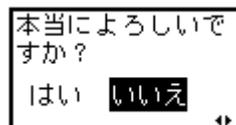
メモリカード登録領域を初期化します。

SDカード フォーマット
はい いいえ

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、はい 、いいえ を選択します。
- はい は、メモリカードフォーマット開始確認画面に変わります。
- いいえ は、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

2　メモリカードフォーマット開始確認画面

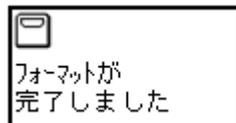
メモリカードのフォーマット開始確認画面です。

本当によろしいですか？
はい いいえ

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、はい 、いいえ を選択し、FEED キーで決定します。
- はい は、フォーマットを開始してメモリカードフォーマット中画面に変わります。
- いいえ は、メモリカードフォーマット選択画面に戻ります。

3　メモリカードフォーマット中画面

メモリカードの登録領域初期化中の画面です。
初期化終了後、次の画面に変わります。

4　メモリカード初期化完了画面

メモリカードの初期化が完了した際に表示します。
LINE キーを長押しするとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

SEMBLモード操作

SEMBL(Sato EMbedded Basic Language)とは、サトーの組み込み式ベーシック言語の呼称であり、本プリンタ能を使用することにより、お客様個別の運用が実現できる機能です。
詳細は、各担当営業にお問い合わせください。

プリンタ設定モードメニュー画面で [+]・[−]・[◀]・[▶] キーを押して「SEMBLモード」を選択します。

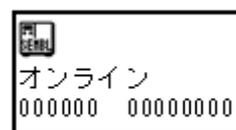
[FEED] キーを押すとディスプレイが次のように表示されます。

1　起動プログラム設定

SEMBLモードを起動した際に実行するプログラムを選択します。

- [◀]・[▶] キーでカーソルを移動し、起動プログラムを選択します。
- [FEED] キーを押すと設定が登録され、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。
- NONEは、起動プログラムを指定しません。
- XXXXXXXX.BASは、起動プログラムを指定します。XXXXXXXX.BASには、本体メモリに登録されているプログラム名を表示します。
- [LINE] キーを長押しすると、プリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。
- 初期値は、NONEになります。

2　SEMBLモード状態画面

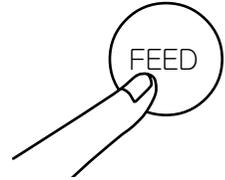
SEMBLモード状態の画面です。
下段の数字は残発行枚数を表示します。

[LINE] キーを押すと、オフライン状態に変わります。

拡張設定操作

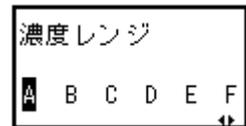
プリンタ設定モードメニュー画面で、[＋]・[－]・[◀]・[▶]キーを押して「拡張設定」を選択します。

設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終わった後、[FEED]キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定が表示されます。

[FEED]キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。
[LINE]キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
[LINE]キーを長押しすると、設定値を登録しないでプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

[FEED]キーを押すとディスプレイに次のように表示されます。

1　濃度レンジ設定

印字の濃度レンジを設定します。
基本的には設定変更不要です。

- [◀]・[▶]キーでカーソルを移動し、A～Fを選択します。
- [FEED]キーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- 初期値は、Aになります。

2　動作モード設定

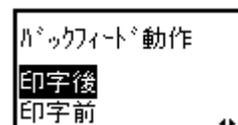
動作モードを設定します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、動作モードを選択します。
- 下記の動作モードから選択可能です。
  - ・ハクリ
  - ・ティアオフ
  - ・連続発行
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、ハクリになります。
- ハクリ を選択したときのみ、バックフィード動作設定画面が表示されます。

3　バックフィード動作設定

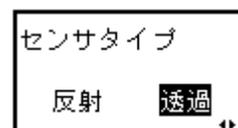
ハクリ動作時のバックフィード動作を設定します。
本画面は動作モードで ハクリ を設定したときのみ表示されます。

ﾊﾞｯｸﾌｨｰﾄﾞ動作
印字後
印字前

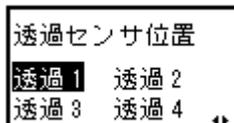
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、印字後 、印字前 を選択します。
  - ・印字後 は、印字後にバックフィード動作を行います。
  - ・印字前 は、印字前にバックフィード動作を行います。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、印字後になります。

4　用紙センサ種設定

使用する用紙センサ種を設定します。

センサタイプ
反射　透過

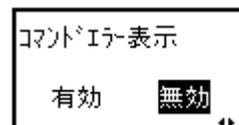
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、反射 、透過 を選択します。
  - ・反射 は、反射センサに設定します。
  - ・透過 は、透過センサに設定します。
- 初期値は、透過になります。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 透過 を選択したときのみ、透過センサ位置設定画面が表示されます。

5　透過センサ位置設定

透過センサ位置を設定します。
本画面はセンサタイプで 透過 を設定したときのみ表示されます。

透過センサ位置
透過 1　透過 2
透過 3　透過 4

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、透過センサ位置を選択します。
- 下記の用紙センサ種の中から選択可能です。
  - ・透過1 は、プリンタに向かって一番左のセンサを設定します。
  - ・透過2 は、プリンタに向かって左から2番目のセンサを設定します。
  - ・透過3 は、プリンタに向かって左から3番目のセンサを設定します。
  - ・透過4 は、プリンタに向かって左から4番目のセンサを設定します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、透過1になります。

6　コマンドエラー表示設定

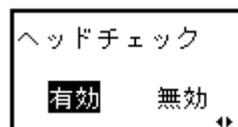
コマンドエラー表示の有効／無効の設定を行います。

ｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ表示
有効　無効

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
  - ・有効 は、コマンドエラーとして発行動作を停止します。
  - ・無効 は、アイコンを表示して発行動作を続行します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

7 ヘッドチェック設定

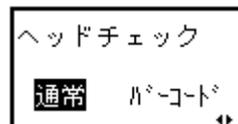
ヘッドチェック機能の有効／無効の設定を行います。

ヘッドチェック
有効　無効

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効、無効 を選択します。
  - ・有効 は、ヘッドチェック機能を有効にします。
  - ・無効 は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効になります。
- 有効 を選択したときのみ、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。

8 ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定します。
本画面はヘッドチェックで 有効 を設定したときのみ表示されます。

ヘッドチェック
通常　ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、通常、バーコード を選択します。
  - ・通常 は、印字領域をチェックします。
  - ・バーコード は、バーコード印字領域のみをチェックします。
    バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、通常になります。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。
定期的に読取りチェックをお願いします。
(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります。)
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って確認してください。

<ヘッドエラー発生時の対処方法>

① ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

● FEED キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
- 通常を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。
  再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
- バーコードを選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替て発行を再開します。

● LINE キーと FEED キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

② ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

● LINE キーと FEED キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

9 外部信号設定

外部信号の入出力有無を設定します。

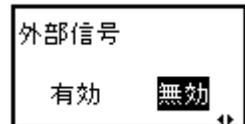
外部信号

有効 無効

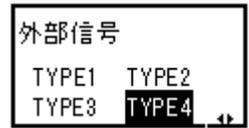
● ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
- 有効 は、入出力を許可します。
- 無効 は、入出力を禁止します。

● FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。

● 初期値は、無効になります。

● 有効 を選択したときのみ、外部信号設定とハクリ完了信号設定画面が表示されます。

10　外部信号出力タイプ設定

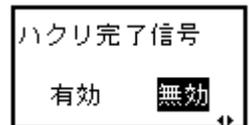
PREND信号の出力タイプを設定します。
本画面は外部信号で 有効 を設定したときのみ
表示されます。

外部信号
TYPE1　TYPE2
TYPE3　TYPE4

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し外部信号出力タイプを選択します。
- 下記の出力動作モードから選択可能です。
  - ·TYPE1
  - ·TYPE2
  - ·TYPE3
  - ·TYPE4
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、TYPE4になります。

詳細は、添付されていますアクセサリCD-ROMのSBPLプログラミングガイドを参照してください。

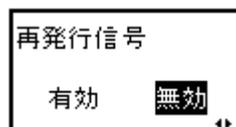
11　ハクリ完了信号設定

ハクリ完了する動作に伴い外部信号へ出力します。
本画面は外部信号で 有効 を設定したときのみ
表示されます。

ハクリ完了信号
有効

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、有効 、無効 を選択します。
  - · 有効 は、ハクリ完了で外部信号への出力を許可します。
  - · 無効 は、ハクリ完了での外部信号への出力を禁止します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効になります。

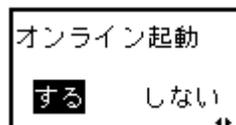
12　再発行信号設定

外部信号7ピンの入力による再発行機能を設定します。
本画面は外部信号で［有効］を設定したときのみ
表示されます。

再発行信号
有効　無効

●［◀］・［▶］キーでカーソルを移動し、［有効］、［無効］を選択します。
　・［有効］は、再発行を許可します。
　・［無効］は、再発行を禁止します。
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、無効になります。

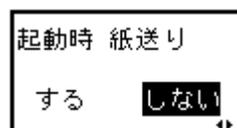
13　オートオンライン設定

電源投入時のプリンタの状態を設定します。

オンライン起動
する　しない

●［◀］・［▶］キーでカーソルを移動し、［する］、［しない］を選択します。
　・［する］は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
　・［しない］は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、するになります。

14　初期フィード設定

プリンタ起動後のオンライン時に自動で用紙フィードを行います。

起動時 紙送り
する　しない

●［◀］・［▶］キーでカーソルを移動し、［する］、［しない］を選択します。
　・［する］は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
　・［しない］は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行いません。
　ただし、次のオンラインフィード設定画面で、［する］に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、しないになります。

15　オンラインフィード設定

エラー復旧後、または電源投入後、オンライン状態に遷移した際、自動で用紙フィードを行います。

エﾗｰ解除後 紙送り
する　しない

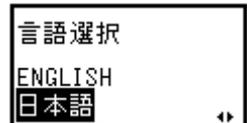
●◀・▶ キーでカーソルを移動し、する 、しない を選択します。
- する は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
- しない は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行いません。
  ただし、前の初期フィード設定画面で、する に設定した場合、電源投入時のオンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。

●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、しないになります。

16　言語選択の設定

操作パネルの表示言語を設定します。

言語選択
ENGLISH
日本語

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、ENGLISH 、日本語 を選択します。
●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、日本語になります。

17　プロトコルコード設定

プロトコルコードのコード設定をします。

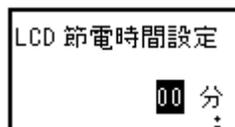
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ設定
STANDARD
NON-STANDARD

●◀・▶ キーでカーソルを移動し、STANDARD 、NON-STANDARD を選択します。
- STANDARD は、スタンダードコードとなります。
- NON-STANDARD は、ノンスタンダードコードとなります。

●FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、STANDARDになります。

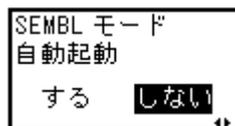
18　LCD節電時間の設定

一定時間操作が行われない状態が続いたときにLCDバックライトを消灯して消費電力を節減します。

LCD 節電時間設定
00 分

●［＋］・［－］キーでLCD消灯時間を設定し、LCD消灯時間を設定します。
　・入力範囲は、“00”～“15”分です。
　・“00”と設定した場合は、LCDバックライトが常時点灯します。
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、00になります。

19　SEMBLモード自動起動設定

電源投入時にSEMBLモードを自動起動した際に実行するプログラムを設定します。

SEMBL モード
自動起動
する　しない

●［◀］·［▶］キーでカーソルを移動し、［する］、［しない］を選択します。
　・［する］は、電源投入時にSEMBLモードを起動します。
　・［しない］は、通常起動します。（SEMBLモードを自動起動しません。）
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、しないになります。
●［しない］を選択した場合、プリンタ設定モードメニュー画面に変わります。

20　SEMBLモード自動起動プログラム設定

電源投入時にSEMBLモードを自動起動した際に実行するプログラムを設定します。
本画面はSEMBLモード自動起動を［有効］に設定したときのみ表示されます。

●［◀］·［▶］キーでカーソルを移動し、［NONE］、［XXXXXXXX.BAS］を選択します。
　・［NONE］は、起動プログラムを指定しません。
　・［XXXXXXXX.BAS］は、起動プログラムを指定します。XXXXXXXX.BASには、プリンタに登録されているプログラム名を表示します。
●［FEED］キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●初期値は、NONEになります。

HEXダンプ印字操作

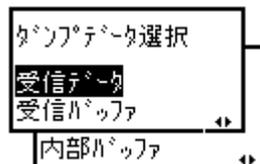
プリンタ設定モードメニュー画面で、［＋］・［－］・［◀］・［▶］キーを押して「HEXダンプ印字」を選択します。

［FEED］キーを押すとディスプレイに次のように表示されます。

1　ダンプデータ選択設定

ダンプ印字するデータを選択します。

ﾀﾞﾝﾌﾟﾃﾞｰﾀ選択
受信ﾃﾞｰﾀ
受信ﾊﾞｯﾌｧ
内部ﾊﾞｯﾌｧ

- ●［◀］・［▶］キーでカーソルを移動し、ダンプデータを選択します。
- ●下記のダンプデータから選択可能です。
  - ・［受信データ］は、受信したデータをダンプ印字します。
  - ・［受信バッファ］は、受信済みの印字データ（1アイテム分）をダンプ印字します。
  - ・［内部バッファ］は、内部バッファの設定値を印字します。
- ●［FEED］キーを押すと、次の設定画面に変わります。
- ●［LINE］キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

▲受信データが無い場合は“受信バッファ”は選択できません。

HEXダンプ印字状態の画面を示しています。

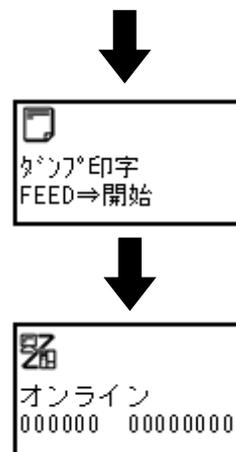
HEXダンプ印字後、［LINE］キーを押し、オフライン機能にし、［＋］キーと［◀］キーを押すとプリンタ設定モードメニュー画面に戻ります。

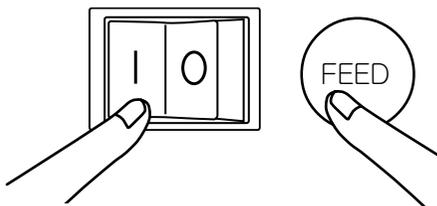
受信バッファおよび内部バッファの場合

［FEED］キーを押すとHEXダンプ印字を行います。

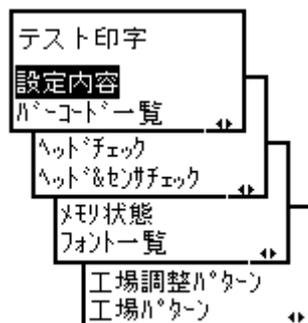
ﾀﾞﾝﾌﾟ印字
FEED⇒開始

発行後、自動でオンライン状態に戻ります。

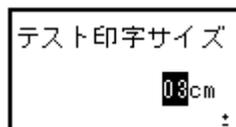
オンライン
000000　00000000

テスト印字モード操作

テスト印字をしてみましょう。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
FEED キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイに次のように表示されます。

1 テスト印字パターン選択

テスト印字パターンを選択します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、テスト印字パターンを選択します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 下の表のテスト印字を行います。

テスト印字パターン	印字内容	選択後の移動先
設定内容	本プリンタ設定内容を印字します。	テスト印字選択①
バーコード一覧	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。	
ヘッドチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。	
ヘッド&センサチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンとセンサレベル値を印字します。	
メモリ状態	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。	印字位置、ハクリ位置調整
フォント一覧	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。	
工場調整パターン	工場テスト印字を行います。	テスト印字選択②
工場パターン	本プリンタの機器情報を印字します。	

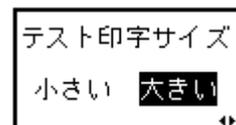
2 テスト印字サイズ選択①

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。
本画面はテスト印字項目で 設定内容 、バーコード一覧 、ヘッドチェック 、ヘッド&センサチェック を設定したときのみ表示されます。

テスト印字サイズ
03cm

- ● + ・ − キーで設定値を変更し、テスト印字サイズを設定します。
  - ・入力範囲は、"03"～"06"cmです。
- ● FEED キーを押すと設定が登録され、印字位置、停止位置調整画面に変わります。
- ● LINE キーを押すと「テスト印字パターン」に戻ります。

3 テスト印字サイズ選択②

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。
本画面はテスト印字項目で 工場調整パターン 、工場パターン を設定したときのみ表示されます。

テスト印字サイズ
小さい 大きい

- ● ◀・▶ キーでカーソルを移動し、小さい 、大きい を選択します。
  - ・小さい は、3cm幅のラベルサイズで印字します。
  - ・大きい は、6cm幅のラベルサイズで印字します。
- ● FEED キーを押すと設定が登録され、印字位置、停止位置調整画面に変わります。
- ● LINE キーを押すと「テスト印字パターン選択」に戻ります。

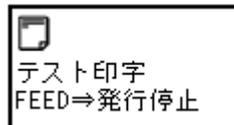
4 印字位置、停止位置調整

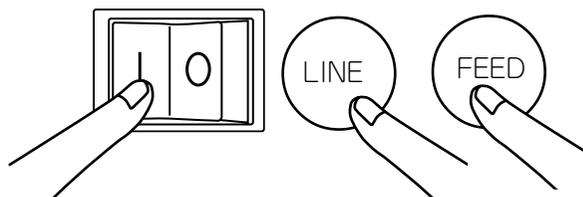
印字位置、ハクリ位置、ティアオフ位置を調整します。

- ● ◀・▶ キーで 印字位置調整 、停止位置調整 画面を切替えます。
- ● + キーを押すたびに数字が0.25上がります。
- ● − キーを押すたびに数字が0.25下がります。
- ● FEED キーを押すと設定値が登録され、テスト印字発行画面に変わります。

5　テスト印字発行

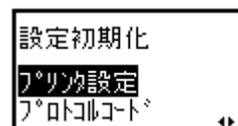
テスト印字を開始します。

- ●FEED キーを押すと、テスト印字の発行を開始します。
- ●テスト印字発行中に FEED キーを押すと発行を一時停止します。
  再度 FEED キーを押すと発行を再スタートします。
- ●テスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値とは、本プリンタが初めから記憶している設定値です。
この初期値設定をおこなうと、今までの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
LINE キーと FEED キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイに次のように表示されます。

1　初期化項目選択

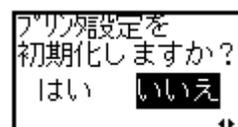
初期化するデータを選択します。

設定初期化
ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ

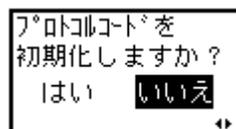
- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、プリンタ設定 、プロトコルコード を選択します。
  - ・プリンタ設定 は、プリンタ設定を初期化します。
  - ・プロトコルコード は、プロトコルコードを初期化します。
- FEED キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。

2　設定の初期化

【プリンタ設定の場合】

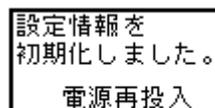
プリンタの設定を初期化します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、はい 、いいえ を選択し、FEED キーを押します。
  - ・はい は、プリンタ設定情報を初期化し、次の画面に変わります。
  - ・いいえ は、初期化項目選択画面に戻ります。
- 初期値は、いいえになります。
- LINE キーを押すと初期化項目選択画面に戻ります。

【プロトコルコードの場合】

プロトコルコードを初期化します。

- ●◀・▶ キーでカーソルを移動し、はい 、いいえ を選択し、FEED キーを押します。
  - ・はい は、プロトコルコードをクリアし、次の画面に変わります。
  - ・いいえ は、初期化項目選択画面に戻ります。
- ●初期値は、いいえになります。
- ●LINE キーを押すと初期化項目選択画面に戻ります。

3　初期化完了画面

プリンタ設定／プロトコルコード初期化完了画面です。
初期値設定（デフォルト設定モード）を終了するにはプリンタの電源を切ってください。

設定情報を
初期化しました。
電源再投入

印字速度設定、印字濃度設定、印字位置補正設定、ゼロスラッシュ切替設定、文字コード切替設定、プロポーショナルピッチ設定、オートオンライン設定、初期フィード設定、オンラインフィード設定の各設定値が次の初期値に戻ります。

項　目	初期値
印字速度設定	2
印字濃度設定	3
印字位置補正設定	V：+0000　H：+0000
ゼロスラッシュ切替設定	無効
文字コード切替設定	JIS
プロポーショナルピッチ設定	無効
オートオンライン設定	する
初期フィード設定	しない
オンラインフィード設定	しない

初期設定値一覧

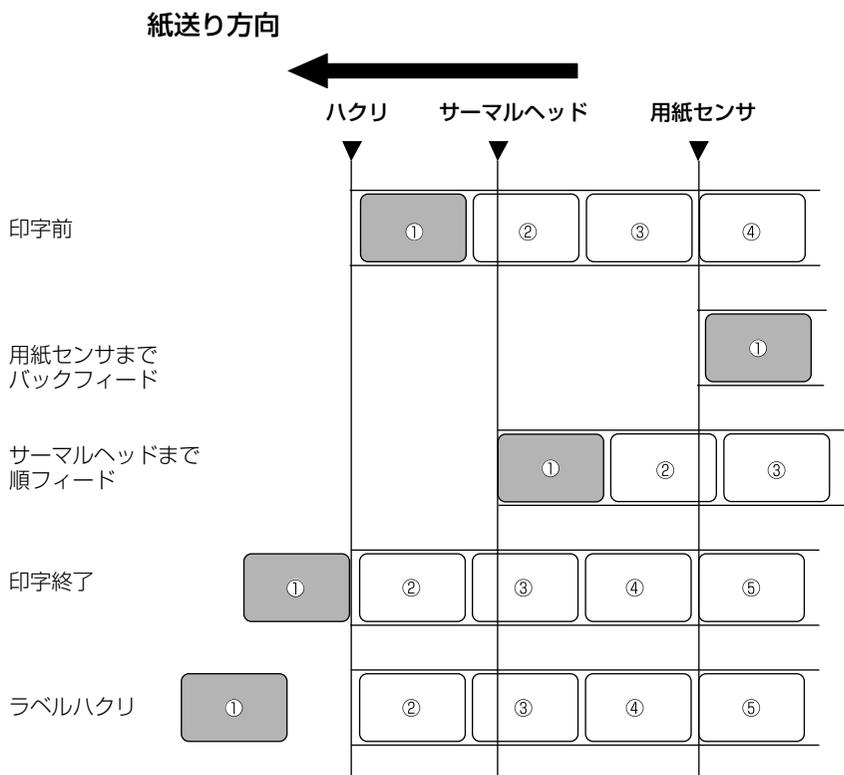
設定項目		初期値	参照ページ
プリンタ設定			
	印字速度	2.0IPS	42
	印字濃度	3	43
	基点補正	V:+0000　H:+0000	43
	ゼロスラッシュ	無効	45
	文字コード	JIS	45
	プロポーショナルピッチ	無効	46
通信設定			
	Key-Bo接続	有効	47
	LAN		
	IP解決方式設定	DHCP	50
	RARP設定	無効	50
	IPアドレス	000.000.000.000	50
	サブネットマスク	000.000.000.000	51
	ゲートウェイアドレス	000.000.000.000	51
	LANポート番号1	01024	51
	LANポート番号2	01025	52
	通信プロトコル	STATUS4	52
	アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	52
	BCCチェック（STATUS5）	無効	53
	プリンタステータス返送タイミング（STATUS4）	ENQ	53
	RS-232C		
	通信レート	19200	54
	パリティビット	NONE	54
	ストップビット	1BIT	54
	データ長	8BIT	55
	通信プロトコル	STATUS4	55
	アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	56
	BCCチェック（STATUS5）	無効	56
	受信バッファ（READY/BUSY、XON/XOFF）	マルチ	56
	USB		
	通信プロトコル	STATUS4	57
	アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	57
	BCCチェック（STATUS5）	無効	57

設定項目		初期値	参照ページ
拡張設定			
	濃度レンジ	A	60
	動作モード	ハクリ	61
	バックフィード動作	印字後	61
	用紙センサ種	透過	61
	透過センサ位置設定	透過1	62
	コマンドエラー表示	無効	62
	ヘッドチェック	有効	63
	外部信号設定	無効	64
	外部信号出力タイプ	TYPE4	65
	ハクリ完了信号	無効	65
	再発行信号	無効	66
	オートオンライン	する	66
	初期フィード	しない	66
	オンラインフィード	しない	67
	言語選択	日本語	67
	プロトコルコード	STANDARD	67
	LCD節電時間設定	00分	68
	SEMBLモード自動起動	しない	68
	SEMBLモード自動起動プログラム	NONE	68

ハクリ印字と連続印字

本プリンタの動作モードでは、ハクリ印字動作と連続印字動作があります。

ハクリ印字動作モード

ハクリ印字動作モードとは、ラベル発行されたラベルを台紙からハクリします。
ラベルをハクリした後は、用紙センサ位置までバックフードし、ラベルの先端がサーマルヘッドの位置まで送ります。

※ アイマークセンサにて特殊ラベルなどを発行する場合、必ずハクリしたラベルを取り除いてから、プリンタの電源を切ってください。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、または、1枚フィードのときは、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

ディスプレイ遷移図

LCD モード一覧

通常モード

印字停止要求／解除
オンライン
000000 00000000
停止中
000000 00000000
[LINE]
オフライン
000000 00000000
+
オンライン発行
方向キー
プリンタ設定
[FEED]
プリンタ設定へ（82 ページ）
方向キー
通信設定
[FEED]
通信設定へ（83 ページ）
方向キー
SEMBL モード
[FEED]
SEMBL モードへ（84 ページ）
方向キー
拡張設定
[FEED]
拡張設定へ（85 ページ）
方向キー
HEX ダンプ印字
[FEED]
HEXダンプ印字へ（86ページ）
方向キー
メモリカードモード
[FEED]
メモリカードモードへ（87 ページ）
方向キー
プリンタ設定モードメニュー

調整モード

印字キャンセル

受信バッファ保存

保存完了
ブザー音が 3 回鳴ります。

プリンタ設定

ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
[LINE]
[FEED]
印字速度
2.0 IPS
[LINE]（長押し）
[LINE]
[FEED]
印字濃度
1 2 3 4 5
[LINE]（長押し）
[LINE]
[FEED]
基点補正
V:+0000 H:+0000
[LINE]（長押し）
[LINE]
[FEED]
ゼロスラッシュ
有効 無効
[LINE]（長押し）
[LINE]
[FEED]
文字コード
JIS
ｼﾌﾄJIS
Unicode
[LINE]（長押し）
[LINE]
[FEED]
ﾌﾟﾛﾎﾟｰｼｮﾅﾙﾋﾟｯﾁ
有効 無効
[LINE]（長押し）
[FEED]

通信設定

通信設定
[FEED]
Key-Bo 接続
有効 無効
[FEED]
"しない"
+ [FEED]
通信設定
する しない
"する" + [FEED]
ポート選択
データポート
サブポート
"データポート" + [FEED]
データポート選択
LAN
RS-232C
USB
"サブポート" + [FEED]
[FEED]
サブポート選択
選択なし
RS-232C
USB
LAN
"データポート" 以外
+ [FEED]
・"LAN" 選択時、LAN 設定へ（50 ページ）
・"USB" 選択時、USB 設定へ（57 ページ）
・"RS-232C" 選択時、RS-232C 設定へ（54 ページ）
サブポート選択
[FEED]
データポート選択
外部装置接続
有効 無効
"選択なし" + [FEED]
[FEED]

SEMBL モード

SEMBL ﾓｰﾄﾞ
［LINE］（長押し）
［FEED］
起動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
NONE
XXXXXXXX.BAS
登録済みのプログラム名
を表示
［FEED］
オンライン
000000 00000000
［LINE］
オフライン
000000 00000000
+

拡張設定

拡張設定
[FEED]
濃度レンジ
A B C D E F
[FEED]
動作モード
ハクリ
ティアオフ
連続発行
[FEED]
ﾊﾞｯｸﾌｨｰﾄﾞ動作
印字後
印字前
ハクリ時のみ表示
[FEED]
センサタイプ
反射 透過
[FEED]
透過センサ位置
透過 1 透過 2
透過 3 透過 4
透過時のみ表示
[FEED]
ｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ表示
有効 無効
[FEED]
ヘッドチェック
有効 無効
[FEED]
ヘッドチェック
通常 ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ
ヘッドチェック
有効時のみ表示
[FEED]
外部信号
有効 無効
[FEED]
外部信号
TYPE1 TYPE2
TYPE3 TYPE4
外部信号有効
時のみ表示
[FEED]
ハクリ完了信号
有効 無効
外部信号有効
時のみ表示
[FEED]
再発行信号
有効 無効
[FEED]
オンライン起動
する しない
[FEED]
起動時 紙送り
する しない
[FEED]
ｴﾗｰ解除後 紙送り
する しない
[FEED]
言語選択
ENGLISH
日本語
[FEED]
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ設定
STANDARD
NON-STANDARD
[FEED]
LCD 節電時間設定
00 分
[FEED]
SEMBL ﾓｰﾄﾞ
自動起動
する しない
[FEED]
起動プログラム
NONE
SEMBL モード
自動起動する
時のみ表示
[FEED]

HEXダンプ印字

HEX ﾀﾞﾝﾌﾟ印字
[FEED]
ﾀﾞﾝﾌﾟﾃﾞｰﾀ選択
受信ﾃﾞｰﾀ
受信ﾊﾞｯﾌｧ
内部ﾊﾞｯﾌｧ
“受信バッファ”または“内部バッファ”+［FEED］
“受信データ”+［FEED］
オンライン
000000 00000000
データ受信
HEX ﾀﾞﾝﾌﾟ印字
受信したデータを
ダンプ印字します。
オフライン
000000 00000000
ダンプ印字
FEED⇒開始
［FEED］
HEX ﾀﾞﾝﾌﾟ印字
オンライン
000000 00000000

メモリカードモード

フォーマット完了
ブザー音が３回鳴ります。

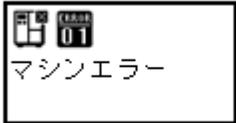
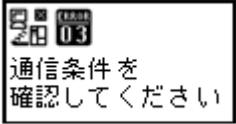
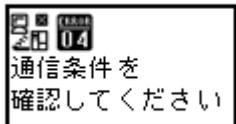
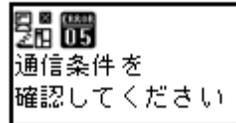
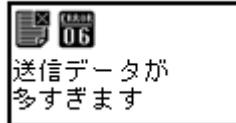
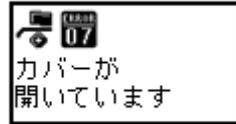
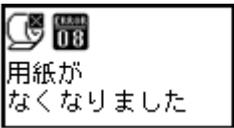
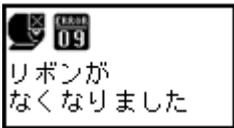
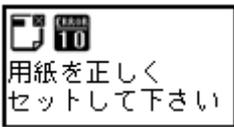
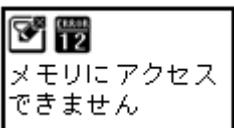
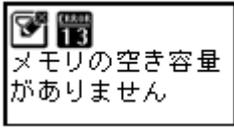
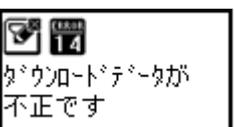
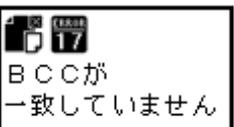
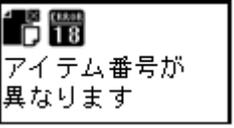
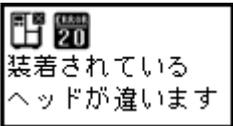
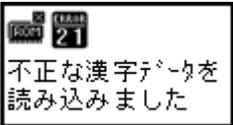
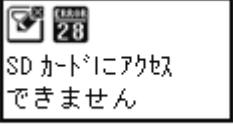
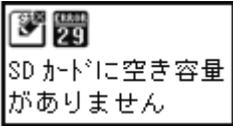
テスト印字モード

［FEED］+POWER
テスト印字
設定内容
バーコード一覧
ヘッドチェック
ヘッド&センサチェック
メモリ状態
フォント一覧
工場調整パターン
工場パターン
“設定内容”
“バーコード一覧”
“ヘッドチェック”
“ヘッド＆センサチェック”
+［FEED］
“工場調整パターン”
“工場パターン”
+［FEED］
“フォント一覧”
“メモリ状態”
+［FEED］
テスト印字サイズ
03cm
テスト印字サイズ
小さい 大きい
［FEED］
［FEED］
印字位置調整
+0.00 mm
FEED⇒発行開始
停止位置調整
+0.00 mm
FEED⇒発行開始
［FEED］
［FEED］
テスト印字
FEED⇒発行停止
テスト印字

初期値設定モード（デフォルト設定モード）

あれ？どうしたのかな？

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本プリンタの操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

▲エラーメッセージ

エラー番号	LCD画面	説　　明
01	01 マシンエラー	マシンエラーの画面です。 原　　因：①基板の不良です。 対　　策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
02	ROM 02 FLASHROM エラー	フラッシュROMエラーの画面です。 原　　因：①フラッシュROMにアクセスできません。 ②書込み回数をオーバーしました。 対　　策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
03	03 通信条件を 確認してください	パリティエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が合っていません。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
04	04 通信条件を 確認してください	オーバーランエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が合っていません。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
05	05 通信条件を 確認してください	フレーミングエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が合っていません。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
06	06 送信データが 多すぎます	バッファオーバーの画面です。 原　　因：①受信バッファを超えるデータを受信しました。 ②通信プロトコルが合っていません。 対　　策：①②通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
07	07 カバーが 開いています	カバーオープンの画面です。 原　　因：①カバーがロックされていません。 ②カバーオープンセンサの異常です。 対　　策：①カバーをロックしてください。 ②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　　明
08	用紙が なくなりました	ペーパーエンドの画面です。 原　　因：①用紙がありません。 　　　　　②用紙が正しくセットされていません。 対　　策：①②用紙を正しくセットしてください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：ペーパーエンド
09	リボンが なくなりました	リボンエンドの画面です。 原　　因：①リボンがありません。 　　　　　②リボンが切れています。 対　　策：①②リボンを正しくセットしてください。または、リボン搬送ルートの清掃をしてください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：リボンエンド
10	用紙を正しく セットして下さい	センサエラーの画面です。 原　　因：①用紙センサのレベルが合っていません。 　　　　　②センサ種の設定が合っていません。 　　　　　③用紙蛇行 対　　策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 　　　　　②用紙に合ったセンサを使用してください。 　　　　　③用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
11	ヘッドが 断線しています	ヘッドエラーの画面です。 原　　因：①ヘッドが断線しています。 対　　策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
12	メモリにアクセス できません	カートリッジ書込みエラー画面です。 原　　因：①コピー領域がありません。 　　　　　②書込みに失敗しました。 対　　策：①コピー領域を確認してください。 　　　　　②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
13	メモリの空き容量 がありません	容量不足の画面です。 原　　因：①メモリの容量が不足しています。 対　　策：①メモリの不要なデータを削除してください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
14	ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃﾞｰﾀが 不正です	ダウンロードデータエラーの画面です。 原　　因：①不正なダウンロードデータを受信しました。 　　　　　②ダウンロード領域がありません。 対　　策：①ダウンロードデータを確認してください。 　　　　　②ダウンロードデータサイズを確認してください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
17	ＢＣＣが 一致していません	BCCチェックエラーの画面です。 原　　因：①送信データ（1アイテム分）に付加されたBCCが異なっています。 対　　策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
18	アイテム番号が 異なります	アイテムNOエラーの画面です。 原　　因：①印字データ（1アイテム分）のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス番号と合っていません。 対　　策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
19	用紙が 巻き取れません	巻き取りフルエラーの画面です。 原　　因：①巻き取り機のラベルがいっぱいになりました。 　　　　　②センサの異常。 対　　策：①巻き取ったラベルを取り除いてください。 　　　　　②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
20	装着されている ヘッドが違います	ヘッド密度エラーの画面です。 原　　因：①プリンタにヘッドが装着されてません。 　　　　　②非対応のヘッドが装着されています。 対　　策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：出力しない
21	不正な漢字データを 読み込みました	漢字ROMエラーの画面です。 原　　因：①漢字ROMより不正な漢字データが読み込まれました。 対　　策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
26	データが不正です Caaa:<bb>:cc	コマンドエラーの画面です。 原　　因：①印字データ中に不正なコマンド、またはパラメータが異なります。 対　　策：①印字データを確認してください。 　　　　　　Caaa：エラー発生位置 　　　　　　<bb>：エラーコマンド名 　　　　　　cc　：エラー種別コード 　　　　　エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：短音3回 外部信号：マシンエラー
28	SDカードにアクセス できません	SDカードアクセスエラーの画面です。 原　　因：①SDカードが挿入されていません。 　　　　　②コピー領域がありません。 　　　　　③読込みまたは書込みに失敗しました。 　　　　　④フォーマットされていません。 対　　策：①SDカードを挿入してください。 　　　　　②コピー領域を確認してください。 　　　　　③SDカードを交換してください。 　　　　　④フォーマットしてください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
29	SDカードに空き容量 がありません	SDカード容量不足の画面です。 原　　因：① SDカードの容量が不足しています。 対　　策：① SDカードの不要なデータを削除してください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー
30	ヘッドリフトエラー	ヘッドリフトエラーの画面です。 原　　因：①ヘッドリフトセンサの異常です。 　　　　　②ヘッドの取付け異常です。 対　　策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：長音1回 外部信号：マシンエラー

警告番号	LCD画面	説　　明
1	オンライン 000000 00000000	受信バッファニアフルの画面です。 原　　因：①受信バッファの空き容量が少なくなりました。 対　　策：①受信済みデータの解析が終了するまで、上位機器からデータ送信しないでください。 警 告 音 ：なし 外部信号：出力しない
2	オンライン 000000 00000000	コマンドエラーの画面です。 原　　因：①コマンドエラーを検出しました。 対　　策：①印字データを見直してください。 警 告 音 ：短音1回 外部信号：出力しない
3	オンライン 000000 00000000	ヘッドエラーの画面です。 原　　因：①ヘッドチェック検出方法に“通常”を選択した状態で、ヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続しています。 対　　策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音 ：なし 外部信号：出力しない

▲あれ？STATUS LEDが・・・

STATUS　LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ STATUS LEDが緑で点滅

メッセージの意味

要　　因：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。
対応方法：このまま使用しても構いません。
プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

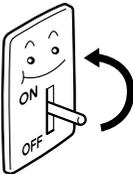
▲あれ？ブザー音が・・・

コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。
対応方法：プログラムを見直してください。

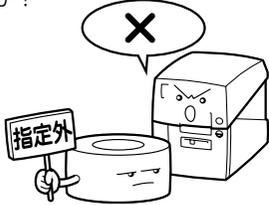
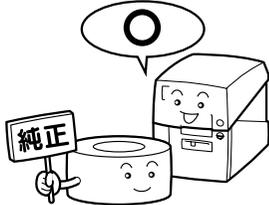
▲こんなときは？

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、次のことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない

	【確認してください】	【直し方】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差込み直します。
2	本プリンタに、電源コードがしっかりと差込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店・ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。元電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。
5	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

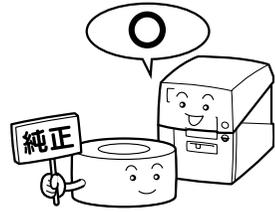
紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直し方】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→98ページ
2	本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、“純正”サプライのご使用をお願いします。
3	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→98ページ
4	カーボンリボンが正しく巻き取れていますか？	リボン巻き取り部のノブが元の位置にセットされていなかったら、1度巻きつけたカーボンリボン を取り除き、ノブを元の位置に戻してセットしてください。
5	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

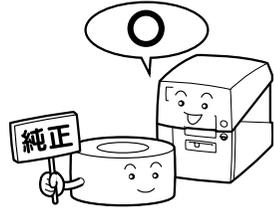
きれいに印字しない

	【確認してください】	【直し方】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→98ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、“純正”サプライのご使用をお願いします。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直し方】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。 また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、“純正”サプライのご使用をお願いします。
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→98ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	基点補正（プリンタ設定）の内容がおかしくありませんか？	基点補正（プリンタ設定）の内容を設定し直してください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。

警告

◆感電防止

本プリンターを清掃するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電するおそれがあります。

■お手入れが必要な箇所と清掃の時期

清掃箇所		清掃の道具	清掃の時期
1	サーマルヘッド	クリーニングペン	用紙1巻おき、または用紙１５０メートル印字ごと
2	プラテンローラー	プリンタ清掃液、綿布	
3	フィードローラー		
4	ピンチローラー		
5	ゴミ取りローラー（オプション）		
6	ハクリ搬送ローラー		
7	ハクリローラー①		
8	ハクリローラー②		
9	ハクリピンチローラー		
10	用紙センサとその周辺		
11	リボンアジャストプレート	プリンタ清掃液、綿布	用紙6巻おき、または用紙９００メートル印字ごと
12	リボンピンチローラー		
13	リボンローラー		

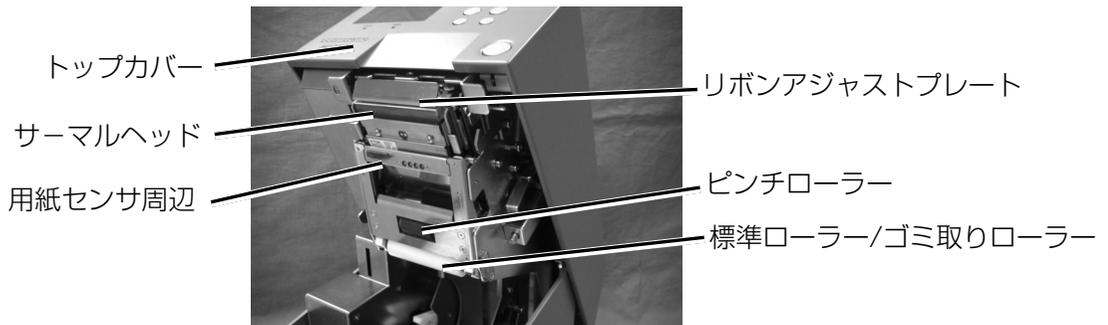
※ プリンタ清掃液と綿布はプリンタクリーニングセットに入っています。

＊ プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

▲お手入れのときの注意

- 表に記載されている清掃時期は目安です。汚れの程度によって適時に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタ清掃液、綿布をご使用ください。
- ドライバなどの硬いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 必ず電源を切ってから清掃をしてください。
- 印字終了後のサーマルヘッドとその周辺は熱くなっています。印字直後は、火傷しない様に注意して行ってください。
- 用紙･カーボンリボンを取り外してから清掃をしてください。

▲サーマルヘッド周辺およびリボンユニット周辺の清掃

① カバーオープンボタンを押してトップカバーを開け、サーマルヘッド部分が見えるようにします(15 ページ)。
② サーマルヘッドについた汚れをクリーニングペンで拭き取ります。
③ リボンアジャストプレートについた汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
④ 用紙センサとその周辺についた汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。

※サーマルヘッドの汚れがクリーニングペンで落ちない場合の清掃

ラッピングシート*を使って次の部分をクリーニングしてください。

※ ラッピングシート*の使い方は、ラッピングシート*に添付しています「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

① トップカバーを開け、ラベル・カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分が見えるようにします。

② ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、トップカバーを閉じます。
※ ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。

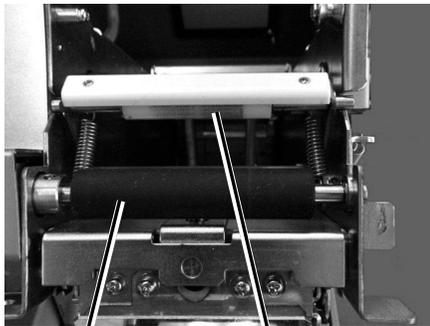
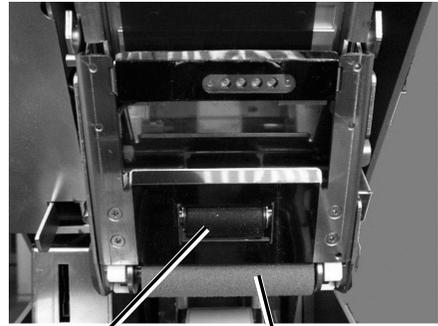
③ 両手でラッピングシート*を手前に引きます。
これを2～3回繰返してください。
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだ、カスが残っているときは、さらに数回繰返してください。

④ サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。

＊ ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

▲リボンローラー、リボンピンチローラーとピンチローラーの清掃

① カバーオープンボタンを押してトップカバーを開け、サーマルヘッド部分が見えるようにします（15 ページ）。
② リボンユニットを下ろし、リボンピンチレバーを上に上げます（23〜24 ページ）。
③ リボンローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
④ リボンピンチローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
⑤ ピンチローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
⑥ ゴミ取りローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。

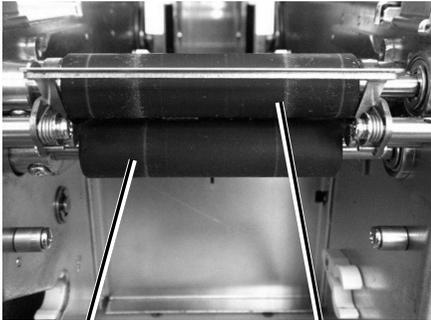
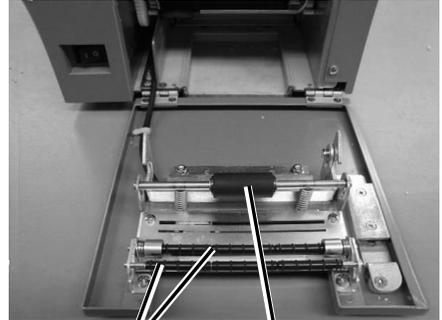
＊ ゴミ取りローラーはオプションです。スポンジ状の材質ですので清掃前にお確かめください。
＊ 標準ローラーをお使いの場合には清掃をしないでください。
＊ 綿布の繊維がゴミ取りローラーに残らないように拭き取ってください。

リボンローラー　リボンピンチローラー

ピンチローラー　標準ローラー/ゴミ取りローラー

▲プラテンローラーおよびフィードローラーの清掃

① カバーオープンボタンを押して、トップカバーを開けます（15 ページ）。
② プラテンローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
③ フィードローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。

フィードローラー　プラテンローラー

▲ハクリユニットの清掃

① カバーオープンボタンを押して、トップカバーを開けます(21 ページ)。
② ハクリユニットオープンボタンを押し下げて、ハクリユニットを開きます(21 ページ)。
③ ハクリ搬送ローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
④ ハクリピンチローラーを回転させながら、全周の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。
⑤ ハクリローラー(①、②)の汚れをプリンタ清掃液に浸した綿布で拭き取ります。

ハクリ搬送ローラー　プラテンローラー

ハクリローラー　ハクリピンチローラー

※ ハクリローラーを清掃するときは、ハクリローラー①を取り外してから、ハクリローラー①とハクリローラー②に付いている糊を拭き取ってください。
※ ハクリローラー①は工具を使わずに取り外すことができます。(21 ページ)
ハクリローラー②は取り外せません。

ハクリローラー①　ハクリローラー②

基本仕様

モデル名	スキャントロニクスHA212R	スキャントロニクスHA224R
印字方式	熱転写方式専用	
ヘッド密度（解像度）	12dot/mm（305dpi）	24dot/mm（609dpi）
印字有効エリア	長さ200mm×幅 56mm	
印字速度	25～100mm/秒 1～4インチ/秒 注）ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向　上：0.5mm以下、下：0.5mm以下（台紙含まず） 幅方向　左：0.5mm以下、右：0.5mm以下（台紙含まず）	
用紙種類／用紙形態	サトー“純正”用紙のご使用をお願いします。／ロール紙	
用紙厚	130～220μm（0.13～0.22mm）	
用紙サイズ	標　準　長さ　3～197mm（6～200mm） 幅　7～58mm（10～61mm） ティアオフ　長さ　3～197mm（6～200mm） 幅　7～58mm（10～61mm） ハクリ　長さ　3～197mm（6～200mm） 幅　7～58mm（10～61mm） ※（　）は台紙サイズ 注）発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外形／支管サイズ	用紙外形：最大185mm（3インチ支管時） 支管内径：76.4mm（3インチ）	
リボン種類	サトー“純正”カーボンリボンのご使用をお願いします。	
リボンサイズ／ リボン形態／ リボン巻方向	リボン長　：最大150m リボン幅　：最大65mm 巻き方向　：裏巻き 巻取り方式：支管巻取り	
発行モード	ハクリ、連続、ティアオフ	
寸法／重量	幅197mm×奥行き365mm×高さ285mm／約16kg	
電源仕様	入力電圧：AC100V～AC240V±10% 消費電力：ピーク時　95W　95VA （印字率 30%） 待機時　26W　27VA	入力電圧：AC100V～AC240V±10% 消費電力：ピーク時　115W　115VA （印字率 30%） 待機時　26W　27VA
環境条件	使用周囲温度：0～40℃ 湿度：10～80%RH（ただし、結露無きこと） 保存周囲温度：－5～60℃ 湿度：10～90%RH（ただし、結露無きこと）	
インタフェース	① USBインタフェース ② LANインタフェース ③ RS-232Cインタフェース ④ EXTインタフェース（アンフェノール14ピン） ⑤ SDカードスロット	
オプション	①SDカード	
操作キー	LINE、FEED ＋・－・◀・▶	
レベル調整	① 印字濃度調整、② 印字位置調整、③ ハクリ、ティアオフ停止位置調整	
用紙長検出センサ	ギャップセンサ（透過タイプ）、アイマークセンサ（反射タイプ）	

<table>
<tr><th colspan="2">モデル名</th><th>スキャントロニクスHA212R</th><th>スキャントロニクスHA224R</th></tr>
<tr><td colspan="2">バーコード</td><td colspan="2">UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、
GS1-128（UCC/EAN128）、CODABAR（NW-7）、ITF、インダストリアル2of5
マトリックス2of5、カスタマバーコード、UPCアドオンコード
GS1 DataBar Omnidirectional、
GS1 DataBar Truncated、
GS1 DataBar Stacked、
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、
GS1 DataBar Limited、
GS1 DataBar Expanded、
GS1 DataBar Expanded Stacked
※GS1 DataBarはRSSのことです。</td></tr>
<tr><td colspan="2">2次元コード</td><td colspan="2">QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF
MAXIコード、GS1データマトリックス（ECC200）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合成シンボル</td><td colspan="2">EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、
UPC-A Composite、UPC-E Composite、
GS1 DataBar Composite
GS1 DataBar Truncated Composite、
GS1 DataBar Stacked Composite、
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、
GS1 DataBar Limited Composite、
GS1 DataBar Expanded Composite、
GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、
GS1-128 Composite
※GS1 DataBarはRSSのことです。
※GS1-128は、UCC/EAN128のことです。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">標準搭載
フォント</td><td rowspan="3">ビットマップ
フォント</td><td colspan="2">X20文字　5×9dot　（英数字、記号、カナ）
X21文字　17×17dot　（英数字、記号、カナ）
X22文字　24×24dot　（英数字、記号、カナ）
X23文字　48×48dot　（英数字、記号、カナ）
X24文字　48×48dot　（英数字、記号、カナ）</td></tr>
<tr><td>OCR-A　22×33dot（英数字、記号）
OCR-B　30×36dot（英数字、記号）</td><td>OCR-A　44×66dot（英数字、記号）
OCR-B　60×72dot（英数字、記号）</td></tr>
<tr><td colspan="2">漢字16×16dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体）
漢字22×22dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体）
漢字24×24dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体）
漢字32×32dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体）
漢字40×40dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体）
※日本語（JIS×208準拠）</td></tr>
<tr><td>ラスタライザ
フォント</td><td colspan="2">CG Times（英数字、記号）、CG Triumvirate（英数字、記号）</td></tr>
<tr><td>アウトライン
フォント</td><td colspan="2">漢字、英数字、記号、カナ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字方向
（文字・バーコード）</td><td colspan="2">文字　　　：0°、90°、180°、270°
バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、
シリアル1（90°）、シリアル2（270°）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バーコード比率</td><td colspan="2">1：2、1：3、2：5、任意指定可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡大倍率
（文字・バーコード）</td><td colspan="2">文字：縦1～12倍、横1～12倍
バーコード：1～12倍</td></tr>
</table>

モデル名	スキャントロニクスHA212R	スキャントロニクスHA224R
搭載機能	①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 ③連番機能 ④フォームオーバレイ機能 ⑤外字登録機能 ⑥文字補正機能 ⑦白黒反転機能 ⑧罫線機能 ⑨ダンプリスト機能 ⑩フォーマット登録機能 ⑪アウトラインフォント機能 ⑫アウトライン変形機能 ⑬ゼロスラッシュ切替機能 ⑭JIS／シフトJIS／Unicode 切替機能 ⑮円弧機能	
自己診断機能	①ヘッド切れチェック ②ペーパーエンド検出 ③リボンエンド検出 ④カバーオープン検出 ⑤テスト印字 ⑥巻取りフル検出 ⑦ヘッドリフト検出	
ノイズ（EMC）規格	VCCI Class B	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- SDロゴは商標です。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。
保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から5年間です。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページhttp://www.sato.co.jp でご確認ください。

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター･販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品“純正”での走行距離30km（カッタ30万回）または納入から6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア(CE)が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社CEが素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼動、さらにシステム全体の安定稼動に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン(保守対応・時間帯など)をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社のCEが直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト(フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど)は、壊れる場合があります(登録された各種データ・ソフトの保証はできません)。特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。